

「名古屋城天守閣木造復元 市民向け説明会」

報告書

令和4年3月

名古屋市

目 次

1	開催概要	1
	（1）趣旨	1
	（2）会場での説明会	1
	（3）オンライン説明会	2
2	会場での説明会の記録	3
	（1）説明会（会場：名古屋能楽堂）の記録	3
	（2）説明会（会場：名古屋市公会堂）の記録	20
	（3）説明会（会場：鯉城ホール）の記録	36
3	アンケート結果	53
	（1）アンケート集計	53
	（2）アンケート内容	55
	①説明会アンケート用紙	55
	②名古屋能楽堂	56
	③名古屋市公会堂	65
	④鯉城ホール	73
	⑤オンライン説明会	83

※ 本報告書の中で個人名にあたる箇所については、名古屋市個人情報保護条例第 11 条第 1 項に基づき、（個人名）と記載を変更している。

1 開催概要

(1) 趣旨

令和4年1月に「名古屋城天守閣木造復元 市民向け説明会」を開催するものである。

(2) 会場での説明会

市内3会場で実施。各会場で学芸員による講演、本市からの説明、質疑応答を実施した。

①日時、会場、参加人数

日付	時間	会場	参加人数
令和4年1月19日(水)	18:30~20:30	名古屋能楽堂	64名
令和4年1月20日(木)	18:30~20:30	名古屋市公会堂	61名
令和4年1月22日(土)	13:30~15:30	鯉城ホール	83名

②司会者

株式会社ソーシャル・アクティ代表取締役 林加代子氏(1月19日、20日)

株式会社都市研究所スペース取締役 浅野健氏(1月22日)

③次第

1. 開会
2. 学芸員による講演
3. 名古屋市からの説明
4. 質疑応答
5. 閉会

④会場の様子



1月19日(水) 名古屋能楽堂 講演



同 質疑応答



1月20日(木) 名古屋市公会堂 講演



同 質疑応答



1月22日(土) 鯨城ホール 講演



同 質疑応答

(3) オンライン説明会

①公開開始日時

令和4年1月19日(水) 午前10時

②掲載場所

なごや動画館まるはっちゅーぶ 1ch (YouTube) へ掲載

③次第

名古屋市からの説明

④アンケート

令和4年1月19日(水) 午前10時から令和4年1月25日(火) 午後5時30分まで、オンラインにて受付。

2 会場での説明会の記録

(1) 説明会（会場：名古屋能楽堂）の記録

① 開会

司会

お待たせいたしました。本日はお忙しい中、ご来場いただきまして誠にありがとうございます。只今より、「名古屋城天守閣木造復元 市民向け説明会」を開会いたします。

私は、本日の司会進行を務めます、林と申します。どうぞよろしく願いいたします。

始めに、本日の市民向け説明会の進行についてご説明いたします。

まず、名古屋城調査研究センターの学芸員による講演を30分程行います。その後、名古屋城天守閣木造復元事業の状況についての名古屋市からの説明を、30分程行います。休憩を挟みまして、会場の皆様から、名古屋城天守閣木造復元事業についてのご質問をお伺いいたします。ご質問のお時間には限りがございますので、進行にご協力くださいますようお願いいたします。説明会は午後8時半頃終了予定となっております。

次に、本日お配りした資料についてご案内いたします。受付で本日の説明会冊子、資料冊子、座席記入カード、アンケート用紙をお配りしております。説明内容は、スクリーンで映写いたしますが、お手元の資料でもご確認いただけます。

また、座席記入カードとアンケート用紙につきましては、お帰りの際に出口で回収いたします。退場は、混雑緩和のため、会場の前半分と後ろ半分を分けまして、後ろの方から退場をご案内させていただきます。

なお、報道機関による取材が入っている他、記録写真の撮影を行っておりますのでご了承くださいますようお願いいたします。

始めに、開会にあたりまして、名古屋市長河村たかしより一言ご挨拶を申し上げます。

河村名古屋市長

はいそれでは、ようお出でいただきましてありがとうございます。まあ、あの、コロナの大変な状況のところ、今日大変寒いですが、ようお出でいただきましてありがとうございます。私も若作りしとるけど、はや73でして、もうとにかく早う木造を造ってちょうと、あの世へ行ってまうがや、というところがございます。何や、(マイクが)入ってなかったか、あかな、聞こえたでねえ、ほんだけれども。聞こえたと思いますけど、まあすみません。若干、まあここにお見えになった方にストーリーを話すと、ほぼ400年前ですか、ほぼ、400年ちょっと前だ、1610年ですから、お城を造りかけたのは。ええこれ来年この後の大河ドラマ、これが家康ですので、家康さんが、造ろうという事になって造ったと。で、1615年ですから大坂夏の陣ってありますけど、家康が息子の義直さんに嫁さんをもろう時にですね、ここを出迎えてですね、でここからなんと、大坂夏の陣に出陣していったのはこの名古屋城から、家康は出陣しておりません。それで、まああの関ヶ原で一応のケリがついたと思う人が多いんですけど実は違っとって、関ヶ原というのは豊臣家の内紛ですわ、石田三成か徳川かと。だけど今度は徳川対豊臣という事で、まさに血で血を洗う大坂夏の陣へ、この名古屋城、ここから出陣してます。多分色んな説はあるようですが、今の体育館のあるこっちの門のところから、あそこから出て行ってですね、

ずーっといってあの尾頭橋のところから向こう佐屋街道、尾頭橋に不朽園という上手い最中の店がありますけど、あそこをずっと行っただろうと言われとりますけど。それでまあ 400 年、日本史というのは後ろから見るとねえ当たり前の事が多いですけど、それまでは応仁の乱、一世むなしって 1467 年からですね、ものすごい殺し合いをやったわけですから、日本というのは、戦国時代に入って。その時代をようやく終結させたという事ですから。金の鯨も、ふつうは大坂方に向けての、要するに豊臣方に向けての威嚇だと言われとりますけど、そうでないという説も有力なんです。南山大学の安田文吉さんが言っとるけど、もう戦争を止めよまいと人殺しは。経済的に発展する日本を作ろうという事で、金の鯨を経済的発展のシンボルという理由で造ったという事でございますので、この名古屋城というのは実は平和のシンボルと。ただ出陣してっしたのは、大坂夏の陣はここからですよ、で、まず確実に家康さんは天守に昇っております、これは。ほんだでよう、今家康がこれ木造で復元したという事になると、まあ喜ばしと思えますよ、これ。太平洋戦争で燃えてまったのか言って。その後またほんとに何、凶面もあり復元したのか、いって。国宝 1 号になったお城をという事で、ここを世界平和のシンボルとしてですね、是非早く造ってもらって、造ったらよ、1000 年は大事にしましょう、今度は 1000 年。法隆寺は 1300 年木造で残っておりますから、1000 年は十分残りますから、木造というのは。まあそういう世界の平和のシンボルと、復興のシンボルだね。人間は死なずと、いうですね、世界のものすごい宝になると思えますんで、是非一つわしも死ぬ前にいっぺん昇ってみたいですよ、本物にね、というふうに思っております。今日はいずれにしましても、お出でいただきましてありがとうございます、サンキューベリーマッチという事です、すみません。

② 名古屋城調査研究センター学芸員による講演

司会

それでは、名古屋城調査研究センター所長の服部英雄より、「特別史跡名古屋城跡をめぐる最近の研究課題」と題して講演を行います。

—学芸員による講演—

③ 名古屋市からの説明

司会

ありがとうございました。続きまして、名古屋城総合事務所所長佐治より、名古屋城天守閣木造復元事業の状況について説明いたします。

佐治名古屋城総合事務所長

皆さんこんばんは。名古屋市観光文化交流局名古屋城総合事務所所長の佐治と申します。これから名古屋城天守閣の整備について、ご説明いたします。スライドでは、お手元の資料に沿ってご説明しますが、より詳しい資料として別で資料冊子もご用意しております。参考にご覧いただければと思います。

名古屋城は、尾張名古屋のシンボルとして、築城から 400 年以上親しまれています。また、国宝と同格とも言われる特別史跡に指定されており、世界の、失礼しました、天守の規模や本丸御

殿、石垣の量、二之丸庭園の規模を見ても世界に誇れる日本一の城郭といえます。現在、名古屋市では特別史跡名古屋城跡の歴史的・文化的価値を伝え、魅力をより一層高め、後世に継承していくため、文化財の保存・活用を進めています。

名古屋城の縄張の内、天守や本丸御殿、櫓や門で構成される本丸には、近世期最高水準の技術により築城された名古屋城の象徴といえます。名古屋市では、その名古屋城の本丸を往時の姿へ復元すべく、本丸整備基本構想を策定いたしました。名古屋城は、徳川家康の命により慶長 15 年、1610 年に築城が開始され、完成後は尾張徳川家の居城として江戸 260 年にわたって栄えました。明治に入り、廃城令のもと多くの城郭が取り壊されていく中、名古屋城の保存を訴える声が高まり、明治 12 年、1879 年には姫路城とともに日本城郭の見本として永久保存される事となりました。この構想では、そのような名古屋城の象徴である本丸を江戸時代の姿に再現する事を目指しています。現在の本丸には、当時のまま残っている石垣や構造物等があり、これらを大切に保存管理していくとともに、戦災で失われた構造物などは、残された資料をもとにそれぞれの特徴を伝えられる姿で復元していく事で、往時の本丸全体の空間構成を実体感できる場にしてまいります。

現在の本丸の状況をご覧ください。まず、特別史跡名古屋城跡の本質的な価値を構成するものとして、江戸時代から残る天守台を始めとする石垣がございます。そして、赤粋の構造物等も江戸時代から残るもので重要文化財に指定されており、西南隅櫓、東南隅櫓、本丸表二之門、そして愛知県体育館建設のために解体され保管されていましたが、その後に移築されました旧二之丸東二之門がございます。また、戦後に鉄骨鉄筋コンクリートにより外観復元された現天守閣、平成 30 年に江戸時代の寛永期の姿に完全復元された本丸御殿などがございます。

次にご覧いただくのが本丸の将来構想図です。現在、旧国宝であった天守の木造復元を進めています。将来的には焼失してしまった東北隅櫓や櫓門、表一之門、東一之門、そしてそれらをつなぐ多聞櫓、南と東にあった巨大な馬出、本丸大手馬出、本丸搦手馬出などの再現を目指します。先程ご説明しました石垣や重要文化財となっている建造物に加えて、復元された建造物等により再現された江戸期の姿を楽しんでいただくとともに、屈指の防備を備えた本丸の役割や機能の理解をより深めていただく事ができるようになります。

基本構想の中では、木造復元の意義について整理しておりまして、本丸の中心である天守を木造復元する事により、本丸に現存する櫓や門、復元された本丸御殿とともに、江戸期の本丸を実体験できるようになります。将来は、更に再現する建造物等と合わせてご覧いただけるようになります。また、名古屋城の天守は、先人達が残してくれた豊富な史資料により外観のみならず内部空間、構造に至るまで史実に忠実に再現する事が可能であり、その特徴を始めとする史跡の本質的価値の向上と理解の促進につながります。

文化財の復元における世界的な観点からも、木造建築物の復元の一つの指標となります。更に、伝統工芸を実践する一大事業であり、ユネスコ無形文化遺産代表一覧表にも登録された木造建築物を受け継ぐための伝統技術の継承と実践の場となるものと考えております。全国にも名古屋城と同じように、戦災等で失われたり戦後再建された天守があり、名古屋城の木造天守復元がそれらの復元の重要なモデルケースとなります。

さて、ここからは復元事業の進捗状況についてご説明いたします。文化庁の初見・指導への対

応として、まずは文化庁の初見が示されるまでの経緯について説明します。平成31年4月に文化庁へ提出した現天守閣解体の現状変更許可申請に対し、その年の9月に文化庁より指摘事項が示されました。指摘事項は大きく2点ございまして、1点目が「現天守閣の解体・仮設物設置等が石垣等遺構に与える影響について」でございます。これに対しましては、考古学的視点及び工学的視点を合わせた総合的な視点から調査・検討を実施し、その結果について各分野の有識者による十分な議論の上、影響は軽微であり、計画が適正であるとの合意を得ました。また、その際に整理した課題について、引き続き今年度に調査・検討を進めております。次に2点目が、「現状変更を必要とする理由について」でございます。こちらにつきましては、有識者の合意を得た上で保存活用計画に基づく名古屋城本丸及び天守の整備基本構想として、近世期最高水準の技術により築城された名古屋城の象徴である本丸の姿を現代に再現するため、また史跡の本質的価値の向上と理解促進にとって大きな効果が得られることから、現天守閣を解体し木造天守の復元をするとの整理をしました。これらの回答を令和3年5月に提出し、6月には文化審議会文化財分科会から所見が本市へ伝えられました。

次に、その文化庁の所見・指導の内容についてご説明させていただきます。まず、文化審議会文化財分科会からいただいた所見といたしましては、「現天守の解体・仮設物設置が石垣等遺構に与える影響を判断するための調査・検討が一定程度進捗したものと評価できる。天守解体と木造天守復元を一体の計画として審議していく必要があると認められる。申請については、天守解体のみならず、木造天守復元についても一体としてその内容に加えるよう、見直しを図るのが適当である。」とされております。

また、文化庁からの指導では、「有識者による合意形成を行いつつ、仮設物設置等が石垣等遺構に与える影響について、引き続き調査・検討されたい。まずは、令和3年度中に調査・検討している各項目については、その調査・検討の結果を文化審議会文化財分科会第三専門調査会に報告されたい。木造天守復元の具体的内容については、史跡等における歴史的建造物の復元等に関する基準に準拠した適切な内容となるよう必要な調査・検討を実施されたい。石垣等遺構の保存に問題がなく、かつ、歴史的建造物の再現行為として適切である事等、必要な条件が整った段階で解体と復元を一体とした現状変更を提出されたい」とされております。なお、文化庁への現状変更許可申請手続きに入る前には、復元検討委員会という文化庁の有識者会議で復元の計画をご議論していただく必要があり、そのためには「石垣保存方針、基礎構造、バリアフリーの方針などの諸課題を含む、解体と復元を一体とした全体計画をある程度まとめる事が必要」とのご指導をいただきました。

ここからは、今後の流れについてご説明いたします。今後の流れといたしましては、文化庁や有識者から指導・助言を受け、地元有識者の合意形成を諮りつつ、令和4年度末を目途に全体計画を策定し、復元検討委員会でご議論していただける状況を整えてまいりたいと考えております。

ここからは、その解体と復元を一体とした全体計画に含める事が必要とされた主な課題について説明をさせていただきます。まず、石垣保存方針につきまして、天守台等の石垣を確実に後世に伝えるため、現況調査の結果を踏まえて、対象範囲の石垣・石材の今後の保存及び修理の考え方を整理する事を目的としておりまして、対象範囲は天守地下1階の穴蔵石垣を含む天守台石垣と、天守閣整備事業の工事エリアとなっている御深井丸側内堀石垣等としております。進捗状況といたしましては、外観調査票の作成等の基礎的な現況調査は終わっており、現在、調査が終了

した部分の保存、修理の考え方について検討しているところでございます。また、御深井丸側内堀石垣の背面の空隙を調査するためのレーダー探査、穴蔵石垣の発掘調査等の追加的な調査を実施しているところでもあり、対象範囲の石垣の現況把握を引き続き進め、調査の結果に応じた石垣の保存、修理の考え方を整理し、有識者に諮りつつ石垣保存方針を確定し、全体計画に反映させてまいります。石垣保存方針の策定後は方針に従い、継続的に石垣・石材への対策を実施してまいります。

次は基礎構造の方針についてです。現在、優先交渉権者が当初提案した跳ね出し工法を見直す事として、基礎構造の検討を進めているところでございます。その検討の考え方といたしましては、「文化庁が定める『史跡等における歴史的建造物の復元等に関する基準』」を遵守する。江戸期からの姿を残す文化財である天守台本来の遺構には新たに手を加えない事を原則とし、その上で可能な限り史実に忠実な復元を行う。熊本地震での熊本城の被災状況を鑑み、人命の安全確保を第一とし、木造天守は大地震時に崩壊する可能性がある天守台で支持しない基礎構造とする。」この事を前提に進めております。石垣埋蔵文化財部会、天守閣部会等の有識者で構成し、基礎構造の検討を行う「名古屋城木造天守基礎構造検討に係る調整会議」を設置し検討を行っております。今後は概ね2か月に1回調整会議を開催し、確定した基礎構造の方針を、復元計画に反映させてまいります。

次はバリアフリーの方針についてです。木造天守におけるバリアフリーの実現のために、昇降技術の公募を実施します。公募によりできるだけ多くの方が使用できる昇降技術を募り実用化する事で、史実に忠実な復元とバリアフリーの両立を目指します。公募においては、大天守の内部を垂直に昇降する技術、大天守の階段を直接昇降する技術、外部から直接大天守1階以上に入場できる技術等を幅広く募集いたします。その際には「大天守の柱、梁を傷めない事、大天守1階まで昇る事を最低条件とし、可能な限り上層階まで昇る事ができる事を主な条件」としてあります。また、高齢者、障害者等からの意見を踏まえ、昇降技術を選定してまいります。今後は公募により昇降技術を選定し、その選定技術を含めた木造天守全体のバリアフリーの方針を、復元計画に反映してまいります。

江戸時代、名古屋城を築城するため、「裏木曾地域から大量の木材を調達した」という記録が残されております。木造天守復元に使用する木材は、裏木曾地域を始めとした木材関係者のご協力をいただき、全国各地から調達しております。平成30年7月の契約締結以降、木材を2071本調達しました。現在、木材は岐阜県、愛知県、奈良県、高知県内の倉庫にそれぞれ保管されております。調達した木材は直射日光を防ぎ風通しが良い適切な環境で保管する事により、木材の品質を保つ事ができます。木材の表面が変色する事はありますが、使用前に修正製材を行うため問題にはならない事を複数の宮大工の方から伺っております。

続きまして機運の醸成でございます。これまで、機運醸成として事業へのご理解を深めていただく機会を作る他、イベントブースや城内などでの募金活動や金シャチパートナーからのご寄附・ご支援もいただいております。いただいたご寄附は、木造復元事業に活用させていただいております。

最後になりますが、復元事業の推進の取り組みとして、今後も文化庁や地元有識者からの指導・助言に基づき適切に対応し、史跡全体の適切かつ厳格な保存を最優先にし、石垣等遺構に影響を及ぼす事の無いよう、慎重に整備を進めるとともに、市民の皆様の木造復元事業への理解が深ま

るよう機運の醸成に努めてまいります。

以上で名古屋市からの説明を終了いたします。名古屋城天守閣木造復元事業について少しでも皆様の理解を深めていただく機会となりましたら幸いです。ご清聴ありがとうございます。

④ 休憩

司会

ありがとうございました。

それでは、準備のためステージを整えますので、15分程の休憩とさせていただきます。お手洗いの混雑が予想されます。お並びの際は間隔を空けていただきますようお願いいたします。併せて、これ以降閉会まで会場内のドアを開け、換気をさせていただきます。何卒ご理解の程、よろしくをお願いいたします。

⑤ 質疑応答

司会

お待たせいたしました。

ここからは、名古屋城天守閣木造復元事業につきまして、皆様からのご質問をいただきたいと思えます。時間は20時20分までとさせていただきます。なお、名古屋城調査研究センター学芸員による講演についてのご質問は、この場ではご遠慮いただきますようよろしくお願いいたします。天守閣木造復元事業についてのご質問に限らせていただきます。何卒ご容赦ください。

最初に、会場の皆様からのご質問にお答えする職員等をご紹介します。

名古屋市長河村たかしでございます。

名古屋市観光文化交流局局長の折戸でございます。

名古屋城総合事務所所長の佐治でございます。

主幹の荒川でございます。

主幹の荒井でございます。

調査研究センター副所長の村木でございます。

主幹の柴田でございます。

株式会社竹中工務店でございます。

それでは、只今よりご質問を伺います。

ご発言につきましては、できるだけ多くの方からいただきたいと考えておりますので、お1人様3分以内で、簡潔にご発言いただきますようご協力をお願いいたします。なお、2分30秒になりましたら、私の方からお知らせしますので、残りの30秒にてお考えをまとめていただきたいと思えます。手を挙げていただきますと、係の者がマイクをお持ちします。ご発言はマイクを通してお願いいたします。それではどなたかご質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。

はい、では前の方、ちょっとお待ちください。

市民A

こんばんは、非常に良い企画で恐れ入ります。私はその城西小学校出身の人間でして、名古屋

屋城はいつも見てました。で、質問が2つございます。1点目ですけれども、資料11ページです。木材の本数が2千何ぼとあるんですけれども、必要数が何本あって何パーセントかという事です。もう1点は、ちょっと復元に直接関係があるのかわかんないですけども、関連性があると思うんですけども、景観の問題です。私さっきも申しましたように城西小学校の学区の人間ですから、ホテルキャッスル、そのホテルができる前、までは、無意識の内に真ん前に天守が見えました。堀川から西側の方に100mくらいなんです、実家が。で、それでできまして、ホテルができまして、全く見えなくなりました。で、やはりですね、いつもあるものが無いという事で、今、解体されてまして、ちゃんと見えるんですけども、そういう景観に配慮した、例えば高層ビルを造るとか、そういうような配慮が確か新聞なんか、中日新聞なんかでもそういう事があったと思うんですけども、最低ですね、自分の母校の小学校からは景観からは必ず見える事は残すとか、そういう他の環境に配慮した景観との中での素晴らしい木造天守という事を希望します。以上です。

司会

はい、ありがとうございます。2つで、1つは11ページの資料の。

河村名古屋市長

区と名前をちょっと。

司会

お名前をお願いできますか、ありがとうございます。ちょっとお待ちください。

市民 A

(個人名)です。

司会

ちょっとお待ちください。お住まいの区を教えてください良いですか。

市民 A

今住んでいるのは昭和区で、実家はそこの西区で、実家が一軒家で両親が亡くなっていますので、ほぼ半分半分の生活をしてますので、実家の近辺の方はいつも天守を見ながら「ええね」というふうにも言っております。以上です。

司会

はい、ありがとうございます。はい、では、木材の必要な本数と今何割くらい調達してるでしょうかという事が1つ目ですね、お願いします。

荒井名古屋城総合事務所主幹

木材についてご質問いただきましてありがとうございます。ここには契約の本数を書いており

ませんので、申し訳ございません。今調達している本数が 2071 本という事で、今竹中工務店と名古屋市が契約をしております木材は、柱や梁といった大きくて長い部材です。で、それが、今、契約の本数でいいますと 2323 本を契約しております、その内 2071 本を調達しているという事でございます。

司会

はい、ありがとうございます。もう 1 つですね、お城の周囲の景観についてお願いいたします。

荒川名古屋城総合事務所主幹

はい。景観の問題という事で、ちょっと詳しい条例とか失念してしまっただけですけども、名古屋城の景観を確保する条例というのを名古屋市が作っております、それに基づいて規制がされておるはずですよ。また、名古屋城の周囲の道路ですとかそういったところからの景観につきましても、今樹木がかなり生い茂ったりしているところございますので、そういったものも見直しながら景観を楽しんでいただけるような計画にしていきたいと思いますというふうに考えておりますので、よろしく申し上げます。

司会

ありがとうございます。よろしいですかね。

市民 A（マイクなし）

契約本数イコール必要数と考えれば。

司会

契約本数イコール必要数でよろしいでしょうか。

荒井名古屋城総合事務所主幹

仰る通りでございます。

司会

はい、ありがとうございます。では次の方いらっしゃいますか。じゃあそちらの白髪の方、ごめんなさい。

市民 B

南区の（個人名）といいます。昨年度も説明会に参加しました。で、今日の説明会と感想というか、一体どうなっとるんだろうねっていうのがあります。去年の説明会では名古屋城の木造計画を進めますと、市長も元々木造でやりたいという事を盛んに仰ってました。で、だから今年になればもう少し進展があるのかと思いましたが、何の進展も見られませんね。で特に竹中工務店さんとの関係ですが、技術提案方式というのでこういうお城を造りたいと木造で造りたいんだとって、竹中さんの案がこれが一番ええと言って木造の計画が始まったんですよ。ところ

が、なんだかかんだかあって、エレベーターの問題もあって、とにかくストップしてますよね。で今回の説明会は文化庁の関係の事は書かれているわけですが、そうなりますと、この7ページですかね、6ページですか。6ページで「文化庁の所見・指導」という事で、特に今回太字で書いてある「復元検討委員会には、石垣保存方針、基礎構造、バリアフリーの方針などの諸課題を含む、解体と復元を一体とした全体計画をある程度まとめる事が必要」だと、こういうふうにわざわざ太字で書いてある。これはどういう事なんでしょう。竹中さんとの技術提案方式は無くなったという事ですか。技術提案方式でやってたプランという、それから竹中さんが作ったあの立派な名古屋城をこうやって造りますよというビデオの中身はどこへ行ってしまったんですか。しかも、専門家の委員会の先生達との関係でいえば、もういっぺんきちんと整備し直して基本計画を練り直すという話になっている。これ一体どういう事なんでしょう、つじつまが合わないという事で、僕は非常に不思議な感じがしております。

司会

はい、ありがとうございます。えっと今のは去年から今年でどんな進展があったんだろうかという事と、それからそもそもの契約はどうなってるんでしょうか、という事でよろしいですかね。はい、じゃあお願いします。

荒川名古屋城総合事務所主幹

はい、まず昨年度からの進展という事でお話させていただきますと、これまで木造天守復元に関しましては、文化庁さんの方には個々個別の相談だとか技術的なご助言・ご指導をいただく事はございましたけれども、このたび所見をいただきまして、木造復元を視野に入れた全般的なご指導を初めていただく事ができたと思っております。昨年度実施しました文化庁からの指摘事項への回答の作成にあたっては、丁寧な上に丁寧に進めるとともに、有識者との十分な議論と合意形成が図られた事から一定の評価が得られたものと認識しております。今後の手順についても明確になってきた事から、我々としては木造復元に向かって着実に前進していると考えているところでございます。

また、先程出ました全体計画に対して石垣保存方針ですとか、基礎構造、バリアフリーの方針などこういった課題をまとめる事が必要という事で文化庁からもご指摘いただいておりますけれども、それに対して竹中の技術提案がどうなったかというご質問だと思いますが、事業を進める中で新たにわかってきた事ですとか生じてきた課題、そういったものに対応していくという事になりますので、竹中さんの技術提案が反故になったとかですね、そういう事ではございませんので、ご理解いただきたいと思います。

司会

はい、ありがとうございます。はい、ではそちらの方ですね、女性の方ですかね。

市民C

南区の（個人名）です。私は河村さんの前の市長さんの時からお話しします。河村さんが市長さ

んになられる前には、本丸は復元、天守は耐震が決まっています、2012年、13年、既に河村市政ではありますが、耐震の思想、耐震がOKも出ています。ところがリコールとかお忙しかったし、ふとオリンピックが決まったので、木造やろまいという事で色々画策をされまして、もう今お集りの皆様も木造の方が多いですが、そういう人達が周りに沢山になって市役所も変わってしまっで。で特にアンフェアだと思いましたが、2016年の6月13日、来月から外のエレベーターを壊すという事で市民が大反対をしまして、市議会でも2020年のオリンピックまでに木造というのは一度断念させました。いっぺんダメになったんですね。一年間継続審議だったのが、3月の選挙の時に何故だか議会が一年間継続審議を廃案なのを飲んじゃったんですね。報酬バスターだと言われて、極めて政治的な案件であったと。議員さんに聞いてもできっこないけど市長に合わせてとくとかね、それから色々な事を聞きましたがはっきり仰らないし、アンフェアです。で、市民は意見を聞いてもらえません。私の友達が、今のお城にお父さんが大変な時代にいっぱい寄附をして、燃えない、沢山燃えましたね大阪でも、京都のアニメでも、燃えないという事を頑張って、もちろん安く仕上げたいという事もあるでしょうが、その頃の先見の明、すごい技術で今のお城は大阪や熊本と並ぶ名城です。それを壊して良いか市民は聞かれておりません。私の周りでも「また説明会があるよ」と言ったら、「まだやってるの、このコロナで。市長は女性名古屋で、コロナ前と後では一変したと書いておるがね。」

司会

あと30秒でお願いします。

市民C

はいわかりました。そういう事をとんでもないと。民心はここに離れています。この人は木造が好きで来ているかもしれない。だけど市民はもう本当に、これは困った、こんな事を40年先まで子孫に負債を残して欲しくありません。お願いします。

司会

はい、ありがとうございます。ご協力ありがとうございます。では今のはですね、市民は色々な意見があるかもしれないけど、その事についてはどうなんでしょうか、という事ですね。これはどなたが。

河村名古屋市長

私ですか、市長、市長と言われるから。

司会

ではお願いします。

佐治名古屋城総合事務所長

所長の佐治からお答えさせていただきます。満足できる内容かどうかは別としまして、毎年こういった形でですね、市民向け説明会を開催しておりまして、状況を正確にお伝えしまして木造

天守の状況につきましてご理解いただくという事を我々心がけているところでございます。また、色んな有識者会議でありますとかその議会なんかでいただいた意見につきまして真摯にそれは受け止めまして、そういった事を計画に反映させていくという、そういった気持ちで取り組んでおりますので、ご理解いただきたいというふうに考えております。

司会

はい、ありがとうございます。はい、では、前の方、どうぞ。

市民D

千種区から来ました（個人名）と申します。景観、先程、最初の質問の方もしてましたけど、景観に関するちょっと意見と、それからこの9ページに関する質問をさせていただきたいと思えます。景観に関して、私時々大阪に行くんですけども、大阪に行くと大阪城の近くに泊まります。朝、大阪城の周りをぐるっと歩いたり、中もあそこは入れるもんですから入ったりしてよく見て、名古屋城とよく比較いたします。景観に関してはですね、非常に残念ながら名古屋城周辺は汚い。あの、やっぱりお城っていうのは大きい小さいだけじゃなくて、やっぱり周りにですね、堀に水が入って周辺がきれいだったという事がね、やっぱり大事な点なんですね。この3年間見ててちっともきれいにならない、周辺。大阪城の方がずっときれいです。少なくとも、外堀までとはいきませんが内堀ぐらいぐるっときれいにして水を入れて、それから周辺もです、ねきれいにする。そういう事をこの3年間にどうして一步も進まないのかと。木造を決めた事だとかなんとか言っていて、僕も木造はあまり賛成じゃないんですけども、現時点ではどうでも良いっていう感じになってますけども、もうちょっと周辺をね、きれいにさせていただきたい。これは大阪城を見たらわかりますよ。大阪城の中は、皆市民のね、ラジオ体操なんかしてますよ、朝6時半、6時頃に行きますと6時半から。そういうやっぱり名古屋市民の誇れる城、城郭にさせていただきたい。天守だけではなくてですね。

もう1つ9ページのちょっと不思議な表現ですけども、「崩壊する可能性のある天守台で支持しない基礎構造とする」これはどういう構造なんですか。どんな構造を意味してるのか。これは私の2番目の、これは質問にあたります。よろしく願います。

司会

はい、ありがとうございます。では1つ目の景観のところはご要望というかご意見をいただいたという事でよろしいですね。はい。で、もう1つの方が、9ページの丸の一番一つ目のマルの「前提となる考え方」のところの一番最後の行のところですね。ここをえっともう少し具体的にご説明をお願いできればと思います。願います。

佐治名古屋城総合事務所長

まず景観の改善につきまして、私の方からお答えをさせていただきます。確かに私も城の中や外をよく歩く事があるんですが、例えば外から名古屋城を見ると石垣に草が生い茂っていたりとか、内堀の中に色々草が生えていたりとか、景観を阻害する要素がいっぱいあるなと思ってます。また、城内に高木が沢山あるんですが生い茂っていてですね、なかなか外から天守がきれい

に見える状況にはなっていないと。昔の写真なんかを見ていると、確かに外から邪魔をするものがなく障害物がなく天守が見えるような状況が確認できますので、なかなか十分ではありませんが景観の改善につきましては年々力を入れております。また特に植栽の管理計画という事を今後定めていきたいと考えておまして、まずは樹木の状況なんかをしっかりと調査して見通しが良い景観の改善にこれからも努力してまいりますので、ご理解いただきたいと思っております。

司会

はい。もう1点、先程のご説明の方をお願いできますでしょうか。

荒井名古屋城総合事務所主幹

はい、基礎構造、9ページの基礎構造につきまして。「大地震時に崩壊する可能性のある天守台で支持しない基礎構造とする」という事を考え方の、前提とする考え方の一つとしております。この意味はですね、江戸期に造られた、今現存している他の天守閣があると思うんですが、天守台、石垣も含めた天守台で、天守閣自身を支えていたと思うんですよね。で、それが名古屋城につきましているますと、戦後、木造だったものを鉄骨鉄筋コンクリート造にするという事で荷重もかなり重くなるという事がありまして、今現在、天守台の中にケーソン基礎といまして、コンクリートの箱型のものが入っているんですよね。そういった状況ではあるという事です。そういった状況の中で今回木造を計画するという事なんですが、一つ一番大事なという事でいいますと、熊本地震があった時に石垣がかなり被害を受けているという状況があります。という事も含めまして、木造天守を建てた時に、万が一石垣に乗るような形で復元をした時に、石垣が大地震時に崩れるというような事があると、復元した木造天守の中にいる観覧者の方が被害を受けるというような事がある可能性がどうしても否定はできないというところでもありますので、我々としては石垣で支持するわけじゃなくて戦後再建された時に造られたケーソン基礎を、今現在のところ再利用できるだろうという目論見をしておりますので、そこを利用しながら石垣には負担をかけないような形で、人の安全も確保しながら、という事で基礎構造を考えているというものでございます。よろしくお願いたします。

司会

はい、ありがとうございます。で、すみません、お時間が迫ってまいりましてあとお2人という事にさせていただきたいと思えます。はい、では、じゃあ、そちらの前の方の方お願いします。

市民E

はい、東区から来た（個人名）と申します。まず1点目、本日1月19日、愛知県下に新型コロナウイルスまん延防止等重点措置の適用が正式に決定され、1月21日以降適用されるという事ですが、そんな中市民向け説明会が強行された事に対して強く抗議します。どうして市民向け説明会自体をオンラインで開催できなかったのか、また、今回も録画・撮影は不可です。去年もその旨発言しましたし、正式に文書でも申し入れましたが、今回も会場に来いという極めて不親切な対応です。質疑応答も含めてオンラインで行えば、もっと多くの市民に安全に木造復元事業の現状を知らせる事ができたのではないかと思います。非常に残念です。名古屋市がオンライン説明会と

称する動画も見ましたが、細かすぎるのと、一方的に説明するだけで市民の疑問には全く答えていません。今後オンラインでの説明会、特に質疑応答の配信の予定についてあるか質問します。

さて、内容に入ります。先程市から木造復元事業に関する説明がありました。現状どうなっているか理解する事ができませんでした。過去1年間に多数の情報公開請求をしたところ、黒塗りの中からかろうじて判明した事がありました。以下4点質問します。

1、当時の松雄観光文化交流局長が「市長主導の名古屋城木造復元では決して上手くいかない。」と石垣部会委員にメールを送付していた事が判明しました。市長の公約としての木造復元と行政ベースの木造復元について何が違うのか。またメール相手の石垣部会の赤羽一郎氏の「木造復元より現天守を守っていく事がはるかに歴史的に意義深い。木造復元に与する事はあり得ない。」に対し、文化庁から地元有識者の理解を得るように言われている点について、明確な説明を市長以外から答弁いただきたいです。

2点目、石垣部会委員の千田嘉博教授から、2021年10月29日に「御深井丸側の内堀石垣調査の速報値を見たところ想定より状況が悪い。内堀を埋めてクレーン台座をおくのはとても耐えられない。」と指摘されています。御深井丸側石垣の現状と対策、クレーン台座をおく計画の現状をお教えください。

3、市消防局から「地震後火災は検討対象としなくて良い。」とされたとあります。阪神大震災を踏まえても、地震後火災を想定しなくて良いかご回答ください。

4、消防設備システム評価専門委員会から「5階窓からはしご車への移動は恐怖で動けないのではないか。」と指摘がありました。東側地盤から37メートル、12階建てビル相当の5階での想定、滞在想定人数、5階窓からはしご車への移動の人数と時間をお教えください。

他にも質問したい事は山程あります。時間を区切る事なく複数回質問できる事を求めます。お願いします。

司会

ありがとうございます。沢山いただいて、すみません。一つ目が、市長主導と行政主導の名古屋城復元はどう違うか。

市民E（マイクなし）

違う違う、オンライン説明会。

司会

オンライン説明会も入っているんですね。はい、わかりました。オンライン説明会の開催について、ご見解をお願いできればと思います。

柴田名古屋城総合事務所主幹

はい、ご質問ありがとうございます。名古屋城の木造天守復元事業につきましてですけれども、多くの予算をいただきながら時間をいただきながら本市の大規模事業として実施させていただいております。従いまして市民向け説明会といったものにつきましては、その進捗状況などを皆様にご説明いたしまして、理解を深めていただける大切な場であるというふうに認識させていただ

いているところでございます。その年度に我々が取り組んだ内容といったもの、木造復元の進捗状況、今後の方針、本年度であれば宿題、文化庁からいただいたご指摘に対する回答いたしましたけれども、そのご所見いただいたという事から、その内容と本市の対応方針といった事をご説明いたしまして木造復元の理解を深めていただきたいという趣旨で実施しております。昨年度におきましても、実地での説明会といったものをさせていただきました。で、説明会後にですね、皆様にアンケートをいただいているという状況でございますが、そのアンケートにおきましてネットではない環境での実施に喜んでいただいた方といった方がですね、一定数いらしたという事、それから撮影に対する拒否反応を示されるご意見をいただいたりという事もございます。そういった事も踏まえまして総合的に考えまして、今年度におきましても現地開催といったもの、それからオンラインでのご意見とかご質問といったものを受け付けるフォームといった事をご用意させていただきました。実施に至ったというところでございます。いただいたご質問につきましては、会場にいただく質問同様ですね、オンラインでいただいたものにつきましても丁寧に回答させていただきたいというふうに考えてございますので、ご理解の方よろしく願いいたします。

司会

はい、ありがとうございます。それからさっきのですね、市長主導と行政主導でどう違うんだっていう事ですね。

佐治名古屋城総合事務所長

木造天守の整備につきまして、市長の主導と行政ベースではどう違うのかというご質問でございました。確かにですね、以前は竣工期限ありきで進めていった時期はございました。ただ今、私どもとしましては文化庁の基準、先程説明しました基準に基づきまして、それを遵守して、なおかつ地元の有識者の理解をしっかりと得ながら進めていくという事でございますので、何も変わらないという認識で進めているところでございます。からもう一つ、有識者から反対意見があったんじゃないかというご質問だというふうに理解しておりますが、先程も説明しましたように、本丸整備基本構想、から天守閣の整備基本構想というのを今回定めまして、文化庁に提出をしまして、一定のご理解をいただいたというふうに考えております。で、この策定につきましても石垣埋蔵文化財部会、それから天守閣部会、全体整備検討会議でその意見を聞いた形で、そこで合意を得て提出しておりますので、一定の理解が得られたものというふうに私どもとしましては理解しているところでございます。

司会

はい、ありがとうございます。あと、御深井丸の石垣について。

村木名古屋城調査研究センター副所長

はい。御深井丸の内堀石垣につきましては、先程ご質問の方が仰ったように、先日石垣部会でも一部ご報告を差し上げましたが、その時にご説明申し上げたのは、戦災で天守が焼けておりますが、その時に石垣の方も合わせて火を受けておりますので、そのために主にそれを原因といたしまして、石材が劣化しております、劣化が進んでいるような状況でございます。多くの石材が

割れていたり、あるいはそのために石材の表面が割れる事によって、間に詰めていた間詰め石、石と石の間に詰めていた間詰め石と呼ばれる石が抜け落ちたりしているというような劣化状況でございます。先日の部会では、その部分のですね、石垣の状態が極めて悪い状態である事。またその上を、すぐ上を来場者の方が通る通路となっておりますので、安全の面からも対処方法の検討が必要であるというようなご指摘をいただいております。で現在その破損状況と、それから個別のその破損に対する修復、補強の方法を検討しておりますので、でそういった個別の検討を含めまして現在調査を進めておりますので、その全体の状況が取りまとまったところですね、石垣の面としてどういう対応していくかというような方法を、対応方法を取りまとめたというふうに考えております。石垣の状況全体を把握した上で、有識者とご相談して、適切な保存、復旧、補強の考え方を早急に決めてまいりたいというふうに考えております。

またさっき、最後にご質問いただいた、クレーンの基礎となる構台の設置方法につきましても、そういった石垣をどう保存していくかという考え方に合わせて検討する必要がございますので、現在合わせて検討しております。

司会

ありがとうございます。すいません、あと2つありました。はい火災関係をお願いします。

荒川名古屋城総合事務所主幹

はい、まず消防さんの方からですね、地震後の火災は考えなくとも良いというふうな発言があったという事に対してなんですけども。私どもの理解としましては、名古屋城の木造復元天守の防災計画の一つとして、火災の原因となる火源を、火の元ですね、天守内に設けない。またあの持ち込まない、持ち込ませないという方針を徹底させるという考え方でありまして、天守内に火源が無い以上、地震によって天守の一部が破損する事があっても出火する、しようがないという前提で計画をしております。でちなみに、現代の建築物、通常普通に建てる場合ですけども、それについても地震と火災は同時に発生しないという前提で設計されております。で、ご質問の地震後の火災っていうところにつきましましては、阪神大震災の折に、住宅地で火災が継続的に発生した当時の事を仰ってみえるのかなと思うんですけども、この火災の原因につきましましては、地震で家の中にあった器具類ですね、例えばガス器具ですとか電気器具、そういったものが倒れたりなんざりして、一方で停電も同時に起こっていたと。停電が復旧した時にスイッチが入ったままの電気器具とかですねそういったガス器具、そういったものに通電したという事から火が回ってしまったというふうにも言われております。従いまして名古屋城につきましましては、火災の原因となる火源を天守の内部に設けないという事で考えておりますので、地震であっても火災は起きないというふうに考えております。

次に5階の屋根が非常に高い位置で、はしご車をつけた時に避難される方が怖くて動けないんじゃないかというご質問で、それに対しては5階の想定人員と逃げ遅れの方の避難時間ですかね人数と時間というお問い合わせだと思いますが。まずあの5階の想定人員なんですけれども、名古屋城の城内に入場させる人数としましては、1時間あたり2,500人というふうに考えております。で、2,500人を単純に6層6フロアありますので、6で割った場合ですと417人、あと面積a按分で上の方に行くに従って面積小さくなっていきますので、面積で按分した時に、ちょっと正

確な数字を覚えておりませんので申し訳ないんですが、400人よりは少なく100人台だったと思うんですけども、そのぐらいまで人数が減ってくる。そういった5階の想定人数で考えております。で、それをベースにしまして、防災協定ですとか消防設備システム評価といった防災関係の第三者機関の評定をとっておりますので、基本的に避難、防火避難については、そういったところで専門家のチェックを受けておりますので、大丈夫だというふうに考えております。で、あと逃げ遅れた人の人数ですとか避難にかかる時間というのは、これはやはり我々今の段階で、人数だとか時間という事はわからないとしかちょっと申し上げる事ができません。

司会

はい、ありがとうございます。で、すみません。あのですね、先程私あと2人ってお伝えしたんですが、想定時間を超えてしまいまして、コロナ禍でもありますので、これで打ち切らせていただいてもよろしいでしょうか。ありがとうございます。ご協力ありがとうございます。ではご質問をいただきありがとうございます。閉会の時間とさせていただきたいと思います。最後に河村市長より一言閉会のご挨拶を申し上げます。

河村名古屋市長

はい、それでは、ありがとうございます。外相当寒いですから、お気をつけてですね、お帰りいただきたいと思いますが。先日NHK観ておりましたら、和歌山城が復元をどうしようかとやってみましたねこれ。あれも、あれもと言っちゃいかんね、あそこもやっぱり空襲で燃えちゃったところで、コンクリートなのか木造なのかという事を、確かインタビューなんか出とったようですけど。それから沖縄の首里城ですね、これも残念だけど焼けちゃったという事で。僕の理解しとる範囲では、首里城をコンクリートで復元するという話は無いと思いますけど、私は、これは木造でやっぱりやっていこうという事でございまして。その第1号は、なんと皆さんの今住んでおられる国宝1号であったこの名古屋城になったんです。これ。だから文化庁が僕には「河村さんの気持ちもわかるけど、一番最初の第1号は、国宝1号の名古屋城になったんだと。丁寧な上にも丁寧にやらさせていただきますよ。」という話がありまして、「そうですね。」という事でやっておりますので、是非まあちょっとだけわしも生きとらないかなという事でございまして、是非世界の宝になりますから、無いですからこんなのは、木造の。それともうちょっとだけいいますと、大きいのはやっぱりあのヨーロッパのパルテノン神殿だとかああいうものは石とかああいうもんだから残るんですよ、だで木の文化というのはなくなっちゃうんです、こういうふうに燃えちゃったりすると。そういう場合に、その文化的遺産というのは無くなるのかと、いやそうじゃないだろうと。復元っていうのは可能じゃないのかという事で文化庁が3つ要件を立てておまして、同じあったその真上に建てる事、それから資料がある事、もう一つは材料も焼けちゃってますけど、極力同じものを使う事と、すなわち国産の木ですね。という事で木の文化もちゃんとやっぱりずっと伝えていけるんだというのが、これ奈良ドキュメントといいますけど、そういう思想がございまして。その輝かしいこの第1号ですね、実際上の、という事ございまして。精一杯、皆さんに喜ばれるやつ、1000年後の子どもが喜ぶやつを造りたいと思っておりますのでよろしくお願ひしたいと思います。今日はどうも長時間ありがとうございます。

司会

ありがとうございました。以上を持ちまして、「名古屋城天守閣木造復元 市民向け説明会」を終了いたします。混雑緩和のため、ご案内まで席でお待ちください。で、座席記入カード、アンケート用紙を、出口で回収いたします。また、他にご質問がある場合はアンケート用紙にご記入ください。愛知県が厳重警戒での感染防止対策を要請しておりますので、早めにご帰宅いただきますよう、お願いいたします。

それでは、お忘れ物の無いよう、お気をつけてお帰りください。本日は誠にありがとうございました。

(2) 説明会（会場：名古屋市公会堂）の記録

① 開会

司会

お待たせいたしました。本日はお忙しい中、ご来場いただきまして誠にありがとうございます。只今より、「名古屋城天守閣木造復元 市民向け説明会」を開会いたします。

私は、本日の司会進行を務めます、林と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

始めに、本日の市民向け説明会の進行についてご説明いたします。

まず、名古屋城調査研究センターの学芸員による講演を30分程行います。その後、名古屋城天守閣木造復元事業の状況についての名古屋市からの説明を、30分程行います。休憩を挟みまして、会場の皆様から、名古屋城天守閣木造復元事業についてのご質問をお伺いします。ご質問のお時間には限りがございますので、進行にご協力いただきますようお願いいたします。説明会は午後8時30分頃終了予定となっております。

次に、本日お配りした資料についてご案内をいたします。受付で本日の説明会冊子、資料冊子、座席記入カード、アンケート用紙をお配りしております。説明内容は、スクリーンで映写いたしますが、お手元の資料でもご確認いただけます。

また、座席記入カードとアンケート用紙につきましては、お帰りの際に出口で回収いたします。退場は、混雑緩和のため、会場の前半分と後ろ半分を分けまして、後ろの方から退場をご案内させていただきます。

なお、報道機関による取材が入っている他、記録写真の撮影を行っておりますのでご了承くださいますようお願いいたします。

始めに、開会にあたりまして、名古屋市長河村たかしより一言ご挨拶を申し上げます。

河村名古屋市長

はいそれでは、ようお出でいただきましてありがとうございます。コロナの方が大変な状況の中で、また外相当寒いですが、ようお出でいただきましてありがとうございます。初めにちょこっと、せっかくですから。名古屋のお城というのは国宝1号ですから、これ。いう事で若干ストーリーを、お話しておきたいと思っておりますけど、大事なストーリーもありましてですね、400年前ですけど。今NHKで頼朝やつとるでしょ、頼朝、これ。あれ観とっていただきますと、平清盛が出てきて、頼朝を殺さんかったわけです、生かしたわけ。色んな理由が言われておりますけど、一般的には熱田神宮の宮司の娘の子だったと、頼朝が、熱田神宮のね。そういうような事もあって清盛は頼朝を殺さずに生かしたという事で、失敗したと。結局自分が殺されるというかまあ殺されるんじゃないけど、平家が潰される運命になってしまったという事があって。それを徳川家康はですね、それを頭にしっかり覚えておってというか、だから絶対に生かしてはいかんと行って、あの名古屋城からですね、最後大坂夏の陣ですわ、1615年か4年かどっちだったかな、に大坂夏の陣でですね、自分の世話になったというか喧嘩もしたんですけど秀吉さんの息子ですね、秀頼、孫が結婚しとるんだでね、家康の、その秀頼を名古屋城から出陣してって、殺しちゃうと、大阪で。というですね、家康からすればすごい決断を、平清盛みたいになってはいかんと、絶対根絶やしにするんだというのが名古屋城で行われたという事で。名古屋のお城は家康が造ったんですから、必ず家康もいっぺんは昇って西の方を見て、「秀頼よ、孫も結婚しておるけ

ど、本当はギブアップしてくれんか。」と思ったと思うけど、「そうでない場合は死んでもらう。」と言って大変歴史の冷酷なですね、ドラマが行われたのは400年ちょっと前の、名古屋のお城でございますので、是非皆さんも「ああ、そういうお城なんだな。」という事をですね、頭においていただいて、この木造再建問題をですね、考えていただくとええかなというふうに思います。そんな事でございます、今日の原さんというのは、なかなかええ話をされると思いますんで、是非お話を聞いたってください。まあ、ようお出でいただきまして、サンキューベリーマッチという事です。

② 名古屋城調査研究センター学芸員による講演

司会

はい、それでは、名古屋城調査研究センター主査の原史彦より、「写真で見る幕末の名古屋城-尾張徳川家14代慶勝の写真術-」と題して講演を行います。

—学芸員による講演—

③ 名古屋市からの説明

司会

ありがとうございます。はい。続きまして、名古屋城総合事務所所長佐治より、名古屋城天守閣木造復元事業の状況についてご説明いたします。

佐治名古屋城総合事務所長

皆さんこんばんは。名古屋市観光文化交流局名古屋城総合事務所所長の佐治と申します。これから名古屋城天守閣の整備について、ご説明いたします。スライドでは、お手元の資料に沿ってご説明いたしますが、より詳しい資料として別で資料冊子もご用意しております。参考にご覧いただければと思います。

名古屋城は、尾張名古屋のシンボルとして、築城から400年以上親しまれています。また、国宝と同格とも言われる特別史跡に指定されているため、天守の規模や本丸御殿、石垣の量、二之丸庭園の規模を見ても世界に誇れる日本一の城郭といえます。現在、名古屋市では特別史跡名古屋城跡の歴史的・文化的価値を伝え、魅力をより一層高め、後世に継承するため、文化財の保存・活用を進めております。

名古屋城の縄張の内、天守や本丸御殿、櫓や門で構成される本丸は、近世期最高水準の技術により築城された名古屋城の象徴といえます。名古屋市では、その名古屋城の本丸を往時の姿へ復元すべく、本丸整備基本構想を策定いたしました。名古屋城は、徳川家康の命により慶長15年、1610年に築城が開始され、完成後は尾張徳川家の居城として江戸260年にわたって栄えました。明治に入り、廃城令のもと多くの城郭が取り壊されていく中、名古屋城の保存を訴える声が高まり、明治12年、1879年には姫路城とともに日本の城郭の見本として永久保存される事となりました。この構想では、そのような名古屋城の象徴である本丸を江戸時代の姿に再現する事を目指しています。現在の本丸には、当時のまま残っている石垣や建造物等があり、これを大切に保存管理していくとともに、震災で失われた構造物などは、残された資料をもとにそれぞれの特徴を

伝えられる姿で復元していく事で、往時の本丸全体の空間構成を実体験できるようにしてまいります。

現在の本丸の状況をご覧ください。まずは、特別史跡名古屋城跡の本質的な価値を構成するものとして、江戸時代から残る天守台を始めとする石垣がございます。そして、赤枿、赤枿の建造物等も江戸時代から残るもので重要文化財に指定しており、西南隅櫓、から東南隅櫓、から本丸表二之門、そして愛知県体育館建設のために解体され保管されていましたが、その後に移築された旧二之丸東二之門、このようなものがございます。また、戦後に鉄筋、鉄骨鉄筋コンクリートにより外観復元された現天守閣、平成30年に江戸時代の寛永期の姿に完全復元された本丸御殿などがございます。

次にご覧いただくのが本丸の将来構想図です。現在、旧国宝であった天守の木造復元を進めています。将来的には焼失してしまった東北隅櫓、櫓門、これには、本丸表一之門であるとか本丸東一之門がございます。そしてそれらをつなぐ多聞櫓、南と東にある巨大な馬出、本丸大手馬出、本丸搦手馬出。こういったものの再現を目指しております。先程ご説明した石垣や重要文化財となっている建造物に加えて、復元された建造物等により再現された江戸期の姿を楽しんでいただくとともに、屈指の防備を備えた本丸の役割や機能の理解をより深めていただく事ができるようになります。

基本構想の中では、木造復元の意義についても整理をしております。本丸の中心である天守を木造復元する事により、本丸に現存する櫓や門、復元された本丸御殿とともに、江戸期の本丸を実体験できるようになります。将来は、更に再現する建造物等と合わせてご覧いただけるようになります。また、名古屋城の天守は、先人達が残してくれた豊富な史資料により、外観のみならず内部空間、構造に至るまで史実に忠実に再現する事が可能であり、その特徴を始めとする史跡の本質的価値の向上と理解の促進につながります。

文化財の復元における世界的な観点からも、木造建築物の復元の一つの指標となりえます。更に、伝統工芸を実践する一大事業であり、ユネスコ無形文化遺産代表一覧表に登録された木造建築物を受け継ぐための伝統技術の継承と実践の場となるものと考えております。全国的にも名古屋城と同じように、戦災等で失われたり、戦後再建された天守があり、名古屋城の木造天守復元がそれらの復元の重要なモデルケースともなります。

さて、ここからは復元事業の進捗状況についてご説明いたします。文化庁の初見・指導への対応として、まずは文化庁の初見が示されるまでの経緯について説明します。平成31年4月に文化庁へ提出した現天守閣解体の現状変更許可申請に対し、その年の9月に文化庁より指摘事項が示されました。指摘事項は大きく2点ございまして、1点目が「現天守閣の解体・仮設物設置等が石垣等遺構に与える影響について」でございます。これに対しましては、考古学的視点及び工学的視点を合わせた総合的な視点からの調査・検討を実施し、その結果について各分野の有識者による十分な議論の上、影響は軽微であり、計画が適切であるとの合意を得ました。また、その際に整理した課題につきましても、引き続き今年度、調査・検討を進めております。次に2点目が、「現状変更を必要とする理由について」でございます。こちらにつきましても、有識者の合意を得た上で保存活用計画に基づく名古屋城本丸及び天守の整備基本構想として、近世期最高水準の技術により築城された名古屋城の象徴である本丸の姿を現代に再現するため、また史跡の本質的価値の向上と理解促進にとってより大きな効果が得られる事から、現天守を解体し木造復元を復

元をすとの整理をしました。これらの回答を令和3年5月に提出し、6月には文化審議会文化財分科会からの所見が本市へ伝えられました。

次に、その文化庁の所見・指導の内容についてご説明させていただきます。まずは、文化審議会文化財分科会からいただいた所見といたしましては、「現天守の解体・仮設物設置が石垣等遺構に与える影響を判断するための調査・検討が一定程度進捗したものと評価できる。天守解体と木造復元、天守復元を一体の計画として審議していく必要があると認められる。申請については、天守解体のみならず、木造天守復元についても一体としてその内容に加えるよう、見直しを図るのが適当である。」とされております。

また、文化庁からの指導では、「有識者による合意形成を行いつつ、仮設物設置等が石垣等遺構に与える影響について、引き続き調査・検討されたい。まずは、令和3年度中に調査・検討している各項目については、その調査・検討の結果を文化審議会文化財分科会第三専門調査会に報告されたい。木造天守復元の具体的内容については、史跡等における歴史的建造物の復元等に関する基準に準拠した適切な内容となるよう必要な調査・検討を実施されたい。石垣等遺構の保存に問題がなく、かつ、歴史的建造物の再現行為として適切である事等、必要な条件が整った段階で解体と復元を一体とした現状変更を提出されたい」とされております。なお、文化庁への現状変更許可申請手続きに入る前には、復元検討委員会という文化庁の有識者会議で復元の検討をご議論していただく必要があり、そのためには「石垣保存方針、基礎構造、バリアフリーの方針などの諸課題を含む、解体と復元を一体とした全体計画をある程度まとめる事が必要」との指導をいただきました。

ここからは、今後の流れについてご説明いたします。今後の流れといたしましては、文化庁や有識者から指導・助言を受け、地元有識者の合意形成を諮りつつ、令和4年度末を目途に全体計画を策定し、復元検討委員会でご議論していただける状況を整えてまいりたいと考えております。

ここからは、その解体と復元を一体とした全体計画に含める事が必要だとされた主な課題について説明をさせていただきます。まず、石垣保存方針につきましては、天守台等の石垣を確実に後世に伝えるため、現況調査の結果を踏まえて、対象範囲の石垣・石材の今後の保存及び修理の考え方を整理する事を目的としておりまして、対象範囲は天守地下1階の穴蔵石垣を含む天守台石垣と、天守閣整備事業の工事エリアとなる御深井丸側内堀石垣等としております。進捗状況といたしましては、外観調査票の作成等の基礎的な現況調査は終わっておりまして、現在、調査が終了した部分の保存、修理の考え方について検討しているところでございます。また、御深井丸側内堀石垣の背面の空隙を調査するためのレーダー探査、穴蔵石垣の発掘調査等の追加的な調査を実施しているところでもあり、対象範囲の石垣の現況把握を引き続き進め、調査の結果に応じた石垣の保存、修理の考え方を整理し、有識者に諮りつつ石垣保存方針を確定し、全体計画に反映させてまいります。石垣保存方針の策定後は方針に従い、継続的に石垣・石材への対策を実施してまいります。

次は基礎構造の方針についてです。現在、優先交渉権者が当初提案をした跳ね出し工法を見直す事として、基礎構造の検討を進めているところでございます。その検討の考え方といたしましては、「文化庁が定める『史跡等における歴史的建造物の復元等に関する基準』を遵守する。江戸期からの姿を残す文化財である天守台本来の遺構には新たに手を加えない事を原則とし、その上で可能な限り史実に忠実な復元を行う。熊本地震での熊本城の被災状況を鑑み、人命の安全確保

を第一とし、木造天守は大地震時に崩壊する可能性のある天守台で支持しない基礎構造とする。」こういった事を前提に進めております。石垣埋蔵文化財部会、天守閣部会等の有識者で構成し、基礎構造の検討を行う「名古屋城木造天守基礎構造検討に係る調整会議」を設置し検討を行っております。今後は概ね2か月に1回調整会議を開催し、確定した基礎構造の方針を、復元計画に反映させてまいります。

次はバリアフリーの方針についてです。木造天守におけるバリアフリーの実現のために、昇降技術の公募を実施いたします。公募によりできるだけ多くの方が使用できる昇降技術を募り実用化する事で、史実に忠実な復元とバリアフリーの両立を目指します。公募においては、大天守の内部を垂直に昇降する技術、大天守の階段を直接昇降する技術、外部から直接大天守1階以上に入場できる技術等、幅広く技術を募集してまいりたいと考えております。その際には「大天守の柱、梁を傷めない事、大天守1階まで昇る事を最低条件とし、可能な限り上層階まで昇る事ができる事を主な条件」としてまいります。また、高齢者、障害者等からの意見を踏まえ、昇降技術を選定してまいります。今後は公募により昇降技術を選定し、その選定技術を含めた木造天守全体のバリアフリーの方針を、復元計画に反映してまいります。

続きまして木材の調達及び保管状況についてご説明いたします。江戸時代、名古屋城を築城するため、「裏木曽地域から大量の木材を調達した」という記録が残されております。木造天守復元に使用する木材は、裏木曽地域を始めとした木材関係者のご協力をいただき、全国各地から調達しております。平成30年7月の契約締結以降、木材を2071本調達しました。現在、木材は岐阜県、愛知県、奈良県、高知県の倉庫にそれぞれ保管されております。調達した木材は直射日光を防ぎ風通しが良い適切な環境で保管する事により、木材の品質を保つ事ができます。木材の表面が変色する事はありますが、使用前に修正製材を行うため問題とはならない事を複数の宮大工の方から伺っております。

次は機運醸成についてです。これまで、機運醸成として事業へのご理解を深めていただく機会を作る他、イベントブースや城内などでの募金活動や金シャチパートナーからのご寄附・ご支援もいただいております。いただいたご寄附は、木造復元事業に活用させていただいております。

さて、最後になりますが、木造復元、復元事業の推進の取り組みとして、今後も文化庁や地元有識者からの指導・助言に基づき適切に対応し、史跡全体の適切かつ厳格な保存を最優先にし、石垣等遺構に影響を及ぼす事のないよう、慎重に整備を進めるとともに、市民の皆様の木造復元事業への理解が深まるよう機運の醸成にも努めてまいります。

以上で名古屋市からの説明を終了いたします。名古屋城天守閣木造復元事業について少しでも皆様の理解を深めていただく機会となりましたら幸いです。ご清聴ありがとうございます。

④ 休憩

司会

ありがとうございました。

それでは、準備のためステージを整えますので、15分程の休憩とさせていただきます。併せて、これ以降閉会まで会場内のドアを開け、換気をさせていただきます。何卒ご理解の程、よろしく願いいたします。

⑤ 質疑応答

司会

お待たせいたしました。

ここからは、名古屋城天守閣木造復元事業につきまして、皆様からのご質問をいただきたいと思っております。時間は20時20分までとさせていただきます。なお、名古屋城調査研究センター学芸員による講演についてのご質問は、この場ではご遠慮いただきますようお願いいたします。天守閣木造復元事業についてのご質問に限らせていただきます。何卒ご容赦ください。

最初に、会場の皆様からのご質問にお答えする職員等をご紹介します。

名古屋市長河村たかしでございます。

名古屋市観光文化交流局局長の折戸でございます。

名古屋城総合事務所所長の佐治でございます。

主幹の荒川でございます。

主幹の荒井でございます。

調査研究センター副所長の村木でございます。

主幹の柴田でございます。

株式会社竹中工務店でございます。

それでは、只今よりご質問を伺います。

ご発言につきましては、できるだけ多くの方からいただきたいと考えておりますので、お1人様3分以内で、簡潔にご発言いただきますようご協力をお願いいたします。なお、2分30秒になりましたら、私の方からお知らせしますので、残りの30秒にてお考えをまとめていただきたいと思っております。また、他の会場を含めまして、まだご発言をされていない方を優先させていただきたいと思っておりますので、初めてご発言される方から、手を挙げていただきたいと存じます。手を挙げていただきますと、係の者がマイクをお持ちします。ご発言はマイクを通してお願いいたします。それではどなたかご質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。

はい、ではこちらの男性の方からお願いします。

市民A

守山区から来ました（個人名）といたします。今朝の新聞に名古屋市が「木造復元着実に前進」と書いてありました。全くそうは思いません。私は座礁していると思います。木造復元っていうのはやっぱり元々無理なんではないかと最近思います。それで観光文化交流局の方に3点聞きます。

1点目、知り合いの一級建築士の方から「巨大な木造建築物、名古屋城天守は建築基準法に何重も違反して非常に危険な建物になる。」と言われました。東京の孫も連れていきたくない、たった1つの出口しかない、小天守と大天守地階、そこから火が出た時に逃げ場はありません。昨日の説明会では、消防設備システム評価専門委員会から「5階窓からはしご車への移動は恐怖で動けないのでは。」というそういう指摘が紹介されたそうです。こういうリスクを含んだ情報を何故検討したら市民に知らせないのか、知らせて欲しいと思います。

2点目、先程も「順調に進んでいる」という、そういう説明がありましたが、石垣保全、基礎構造、バリアフリーの課題についてお尋ねします。11月の市議会での質疑からですが、「御深井丸の石垣が深刻な状態になっていて、内堀を埋める工法は絶望的だと、石垣の上を歩く事すら危険。」という有識者の発言がありました。非常に衝撃的でした。天守台の石垣も含めどう対応していくのか。何年もかかると思うんですね。でもこれは最優先だと思います。それから、基礎構造は調整会議がなかなか持てない状況です。どういう基礎構造にするか具体的な姿が見えてこない。結論はいつ出すんですか。

司会

はい、あと30秒をお願いします。

市民A

わかりました。バリアフリーの新技术、「不可能だから1階までで良い」と言っているように聞こえるんですが、良いものが出なかったらどうするんですか。

3つ目、収支計画。いつまでに出すんでしょうか。そもそも当初の計画では、年間350万の来場者が50年続く事を前提にした無理な計画でした。新型コロナの影響で国内外からの来場者が見込めない、そういう状況です。どうするのか見通しを教えてください。入場料で賄うと、税金は一切使わない、そういう事だったと思うんですがどうでしょうか。以上です。

司会

はい、ありがとうございます。1つ目が、建築基準法に違反してないのかという話で、もしリスクがあるのであればそのリスクを市民に知らせて欲しいというお話でしたね。こちらは。

荒川名古屋城総合事務所主幹

はいでは、基準法の違反ではないかというお問い合わせをいただきましたので、そちらについてお答えさせていただきます。基準法自体ですね、今の現代建築に対して色んな規定がかかってくるわけなんですけども、今回復元する木造天守閣につきましては、江戸時代の当時の木造で建てていくという事で、伝統建築物に対して現在の基準法をそのまま当てはめていくという事はですね、なかなか難しいところがあります。で、今の基準法どういうふうになっているかと申しますと、基準法の第3条の方にそういった伝統的な建築物、もしくは現に国宝ですとか重要文化財になっているもの、そういったものにはこの法律は適用しませんよという規定がございます。で、その並びの中にですね、第1項第4号というところになるんですけども、歴史的建造物を再現する場合であっても建築基準法を適用しませんよと。で、ただその時には、建築審査会というところの、有識者の方が入ったそういう建築審査会というところの同意を得た上で特定行政庁が認める場合には適用しませんよという規定がございます。ですので、その当時、昔の建物を復元するといった時にですね、ただ建築基準法で求められているような安全性ですとか、それとか構造であったり防火避難といったところもあるんですけども、そういったものを全く無視して良いわけではありませんので、そういった趣旨は尊重しながら、我々としては復元をしていくと。でその時に、じゃあどうやって防火避難だとかいう事を担保していくのかといった時に、我々が今や

っているのは日本建築センターというところですか、消防設備安全センターという第三者機関、これはどちらも国に認められた機関でございますけども、そういったところで評価ですとか評価といったものをいただいて、安全性について確認をしているところでございます。

司会

はい、ありがとうございます。それから、2つ目と仰っていたのの中に3つあって、石垣の事と基礎構造の事とバリアフリーの事がありました。これは1個1個別々の方がよろしいですか。じゃあお願いします。

村木名古屋城調査研究センター副所長

はい、それではまず、石垣の事についてお答えさせていただきます。先日の有識者会議あるいは市議会というふうに先程仰いましたけど、そういったところでご指摘がありましたけれども、確かに内堀の御深井丸側の石垣、こちらにつきましては、天守閣が、天守が震災によって焼失した際の熱によりまして石材自体の劣化がかなり進んでおります。多くの石材が割れているような状況、それから割れて落ちた事によって、石と石の間に詰めておいた「間詰め石」と呼んでいる、築石と築石の間に詰めておいた石が下に落ちるといような劣化が進んでおるような状況でございます。そういった状況でございますので極めて悪い状態であって、またその上が市民の方が来場者の方がお通りになる通路になってございますので、「安全の面からも何らかの対応が必要である」というご指摘をいただいたところでございます。現在、先程の説明にもありましたけれども、各種の調査を行っております、概ね調査の方を終了しておるんですけども、そういった調査結果を踏まえまして、今度はその傷んだ石材に対してどのような処置をしていくかというような「修復」という観点から今対応、検討を進めておるところでございます。それにつきまして、個々の石材についての検討をまず全体について行いまして、その上で個々の石材に対応する対応だけで良いのか、あるいは石垣の面として何らかの対応が必要なのかといったところを今後検討してまいりたいというふうに考えておるところでございます。その上でなんでございますが、工事に際して内堀を埋める工法が絶望的というようにご質問だったかと思っておりますけれども、そちらにつきましてもその石垣をどのように保全していくかという考え方を踏まえて、そういった仮設計画を検討していく必要でございますので、合わせて今検討しているところでございます。

司会

はい、ありがとうございます。じゃあ基礎構造。

荒井名古屋城総合事務所主幹

基礎構造についてご質問いただきましてありがとうございます。この基礎構造につきましては、天守閣木造復元をする事業を実現するために非常に重要な部分であると我々も考えております。で、本日です。資料の中、9ページに前提となる考え方というのを3つ挙げております。「文化庁の基準を守る事」、あと「天守台本来の遺構に新たに手を加えず木造復元していく事」、あと「熊本地震での熊本城の被災状況を鑑み、天守台で支持しない基礎構造とする」といような事を挙げておりまして、検討を進めております。現在、その検討する上でも必要となります天守台の、

あ、天守閣の地下部分ですね、の調査も進めているところでございます。基礎構造の方針はですね、できるだけ早く確定してまいりたいというふうに思っておるんですが、特別史跡の整備という意味、あと天守台石垣の保存と修復、あるいは大地震時の観覧者の安全確保、耐震対策を合わせまして、復元における防火避難だとかバリアフリー、更に名古屋城に相応しい、復元に相応しい基礎構造にするという事も含めまして重要な課題があるというふうに思っております。今現在調整会議というものを設置しております、有識者の先生、構成員からスピード感を持って進めていくというような事をご意見をいただいておりますので、精力的に検討を進めていきたいと。でその上で来年度ですね、復元、解体と復元をまとめていきたい、全体計画の中に盛り込んでいきたいというふうに考えておりますのでご理解賜りたいと思います。

司会

はい、ありがとうございます。ではバリアフリーの、はい、お願いします。

佐治名古屋城総合事務所長

ではバリアフリーのご質問に対してお答えさせていただきます。先程スライドでも説明いたしました、今回お配りしております資料冊子の11枚目の、プリントの中に「木造天守閣の昇降に関する付加設備の方針」というものが付いていると思います。この中でも書いてあるんですが、「新技術の開発を通じてバリアフリーに最善の努力をする」という事を私ども考えているところでございます。で、公募をこれから開始していくわけでございますが、多くの募集が出てくる事を期待しているところでございます。なお、公募をして応募をしてもらったものにつきまして審査をするわけでございますけれども、この審査をするにあたって審査基準というのを作ってそれに基づいて審査をする形になります。この基準の作成につきましては、障害者団体のご意見も聞きながら作っておりますので、そういったものに基づいて専門の審査員によって審査していく事になります。結果的に、審査をした結果基準に該当しないという事があれば、その時に考える事になりますが、多くの提案がいただいでバリアフリーの実現に寄与するような昇降技術が出てくる、採用できる事、これを念願しているところでございます。

司会

はい、ありがとうございます。最後ですね、収支計画。

柴田名古屋城総合事務所主幹

はい、収支計画についてでございますけれども、事業費につきましては木造天守復元後の入場料収入で賄うという考え方には変わりはありませんけれども、その収支計画につきましては新たな竣工期限が定まり次第、改めて算出する必要があるというふうに考えてございます。今年度の名古屋城の入場者数でございますけれども、令和3年12月末時点で約47万人となっております。前年度の12月末までの入場者数が約31万人といった事から約1.5倍に増加しているところでございますけれども、新型コロナウイルス感染拡大前の入場者数に比べますとまだまだ回復しているとはいえない状況ではございます。その一方でですけども、日観協の調べですとか観光白書といったところを拝見いたしますと、「コロナ禍ゆえに観光を控えた」といった方が多くいらっしゃる

という結果、それから某新聞になりますけどもコロナ後のリベンジ消費につきまして1位に旅行などのレジャー関連が取り上げられているといったところでございます。我々観光文化交流局といたしましてはですね、こういった需要を取り込むべく名古屋城への誘客といった事を図っていく事が重要であるというふうに考えてございます。人口減少社会におきまして交流人口を増やすといった事で経済を支えていかなければならないと私ども考えておりますので、名古屋城の魅力向上といった事を図っていく事で入場者を確保してまいりたいと考えておるところでございます。

司会

はい、ありがとうございます。では次の方、他にはいらっしゃらないですかね。じゃあどうぞ。

市民B

ありがとうございます。南区の（個人名）です。よく進捗状況を聞かせていただいて、全く抽象的で数字がありません。今マンションとか町内会で総会のシーズンです。必ず使ったお金とその事業に対して総括をします。今まで市のお金は、この木造についてどれだけ出されたか数字がありません。そして、その予想ですけど50億は下らないと私は思うんですけど、「基本計画がダメだったら反対するで良いわ」と、議員さんの中でも軽く仰ってたんですけど、そういう事をズルズルズルズルと、なんていうのかなできてない、何ができるのかできる見通しが無い、そのままお金をどんどん使っているんじゃないですか。そういう事は家計であっても主婦であっても大変まずいです。そして一つの企業とずっといつまでやるのですか。そういう事も約束事でおかしいんじゃないでしょうか。私はこの事業計画が巨大であればある程、毎年きちんとその費用対効果を皆で市民も議会もやるべきだと思いますが、いかがでしょうか。それが無い説明会なんて、何かやってる感じを私達が来た事でアリバイを作ってあげているようなものだと思います。今芸処という名古屋でしらかわホールがつぶれ、どんどん和物も洋物もどんどん潰れています。県はコロナを一生懸命やっているけども、コロナも県におんぶにだっこで名古屋市は衰退の一途です。本当に緑も減っているし。だからやっぱり名古屋市はこういう事に現を抜かしているんじゃないかと、市民全体が豊かになるように、困っているところにちゃんと、リセットして考え直す時に来てるんじゃないでしょうか。この事ばかりまるで進んでいるように見える説明会はお免です。

司会

はい、ありがとうございます。今のご質問は2つあって、具体的な数字を見たいよという事と、1つの企業とずっと一緒にやっている事についてちょっと意見を聞きたいな、という事かなと思います。最初にまず具体的な数字のところをお願いできますか。

荒川名古屋城総合事務所主幹

はい、これまで木造天守の復元事業において使用した金額という事で、名古屋城天守閣特別会計というものを立てておりますので、そちらの方の令和2年度末までの決算の数字でございますが、支出の合計としまして約70億円となっております。また、いつまで竹中工務店さんとやるのかというお問い合わせかと思いますが、竹中工務店さんとはプロポーザルの結果を以て優先交渉権者という立場で今いらっしゃいますので、その優先交渉権者と事業の進捗に合わせて設計

ですとか必要な工事もしくは調査、そういったものを順次契約をしていく形になっておりますので、こちらとは基本的に木造復元を一緒にやっていくという形でございます。

司会

はい、ありがとうございます。では、他にいらっしゃいますでしょうか。じゃあそちらの真ん中の女性の方どうぞ。

市民 C

天白から来ました（個人名）と申します。私は木造復元を進めていただきたいという立場で、今日も伺いました。先程原先生のお話と写真を見せていただいて、「ますますあの姿が見たいな、名古屋城へ行って、本当に日本一の城だなとわかる、目で見てわかるような形に早くなると良いな。」と思いながら、ちょっと憧れでこう描いているんですけども。前回の説明会からもあまり進展がなかったようなので、これはもう 10 年くらいはかかるだろうなと思って、もう私も完成を見る事はできないなと思ってるんですけども、ちょっと夢を見たいので、これからの先々、工事などが始まったらもっと名古屋市からアピールして欲しいなと。この 3 年間くらいも、何か鳴かず飛ばずの感じで、人から聞かれても「どうなってるんだろうね、わからない。」ってしかいえなかったので、「今こういう状態ですよ。」とか「こうしてますよ。」とか、何かそういうもっと積極的な声が聞けると良いなと思っておりますので、具体的に「今ここまで行ってますよ、これからこうしますよ。」って事をもっとどんどん発信していただけたらなと思っております。それと同時に本丸に行く行くは整備して元通りの形についていう話もあったので、木造天守は 10 年以上かかるだろうけども、同時にちょっと櫓とか門とかも再建していただけたらちょっとでも近づくから、何か夢があるかなってような思いで今日は一日お話を聞かせていただきました。色々大変な問題が含まれていると思うんですけども、私としては積極的に造るという方向で、じゃあバリアフリーをどうしようとか、こういう事はどうしようかという形で、何か考えていけたら良いんじゃないかな、なんて思いながら聞かせていただきました。

司会

はい、ありがとうございます。もっと積極的に現状をアピールしてねっていうお話と、それからついでにと言ったらすごい失礼なんですけど櫓とか門とかも復元のご予定はどうなんでしょうね、みたいなのところかなと思うんですけど。それは何かコメントいただいて良いですか。ありがとうございます。

佐治名古屋城総合事務所長

じゃあ私の方からお答えさせていただきます。どうもありがとうございます。今回のこの説明会の一番我々が訴えたかった事につきましては、解体先行の申請をしていく中で文化庁の方から指摘事項が示されまして、その答えとしまして本丸全体を江戸期の姿に戻す、その中で象徴的な木造天守の事業を進めていくという事を文化庁にお返ししたところ、そこを評価されてですね、合わせて文化庁の方から所見という形で、そういう考え方を持っているのであれば解体と復元を一体化した申請を出してくださいと、そういう事を言われたもんですから、そこを市民の皆様

一番お伝えしたかったというのが今回の説明会の一番の目的でございます。で、先程私の説明の中でも全体計画の中には石垣の保存方針であるとか、基礎構造の方針、それからバリアフリーの方針をしっかりと盛り込んでいくという事で、それを令和4年度中にまとめて文化庁の方にまた出していくという事を説明させていただきました。そこで次に復元検討委員会というところに諮られていくと、ある程度先が見えてくるのではないかとこの事を考えておりますので、今後とも引き続き、そういった進捗状況につきまして事細かに適宜適切なタイミングで説明をさせていただきますというふうに考えております。以上でございます。

司会

はい、ありがとうございます。ありがとうございます。では、他に。もう1つ、ごめんなさい。

佐治名古屋城総合事務所長

もう1個忘れていました。もう1つ、本丸を江戸期の姿に再現するという事につきまして、当面天守を優先してやっていかなきゃいけないと思っておりますが、将来的にはこういった構想に基づいて本丸全体が江戸ワールドになるみたいな、そういった事を目指して頑張っていきたいと考えております。以上でございます。

司会

はい、ありがとうございます。では、その真ん中の、男性の方、お願いします。

市民D

だいぶ厳しい意見が出るとは思いますが、私も厳しい意見をいいたいです。昭和区の(個人名)と申します。前回に私、昭和区役所で説明を聞いたんですけど、今日程の切迫感が全然なかったんですよ。一番あの時にも質問したかったと思ったのが、やっぱり石垣がなんで足を引っ張っておるんだという事、それで現代の工法でいったら石垣を除いても基礎を造れば支障なく工事が進められるんじゃないかと。石垣は並行か後からでもやっても、とにかく早く木造の本丸を造って欲しいというふうに思ってたんですよ。それで今1つ、3つ、4つ質問したいと思うんですけど、1つは姫路城は私も何十年前に行ったんですけど、あれは立派な木造で平然として営業しとるわけですね。でそれに比べて名古屋城は、名古屋市にあるものですから入場者数がべらぼうに多い。そうすると、それこそバリアフリーがやれるのかどうかと。それからもう1つは熊本城の石垣、地震で壊れた時にですね、あれ倒壊しなかったんですよ。石垣の1か所が1点で隅が、なんていうんですか、石垣が壊れずに建っておったんですよ。あれがどうしてなのか、不思議でしょうがなかったんですけど。それから、とにかく色々いいいもんですからもう止めますけど、とにかく早く造って欲しい。今日説明を伺いましたら、本丸ばかりじゃなくて他の周辺の整備もやりたいと。やりたいと言って、私らもう80になるもんですから、それが実現するには。

司会

はい、あと 30 秒でお願いします。

市民 D

どこで私が見れるのかしらと思って。まあそういう点がありますから、とにかくもうちょっと切迫感を持って早くやってもらいたいと思います。以上です。

司会

はい、ありがとうございます。今のお話は、あれですね、石垣が足を引っ張っている理由っていうのが知りたいよっていう事と、それから姫路城との対比でバリアフリーが名古屋城は入場者数多いけどできるんでしょうかという事と、それから熊本城の話ですが熊本城が壊れないで建っているのはなんででしょうという話なんですけど、この辺はわかる範囲で良いと思うのですが、お願いします。最初に、石垣が足を引っ張ってる理由、そのまま言っちゃいますけど、は何でしょうか。

村木名古屋城調査研究センター副所長

今回の事業に際しまして、石垣がどうして問題になっているかというご質問かと思えますけども、石垣というのは本日の説明にもありましたけれども、築城期、江戸時代に造られた時の姿を多くのところで残しておりますので、名古屋城、特別史跡としての名古屋城の中でいいますと、それは本質的な価値を構成するものというような評価をしております。ですので整備事業にあたりまして、そういった本質的価値を持つものについて何らか影響を与えない、特に保存に悪い影響を与えないというような事が整備事業を進めていく上での前提になろうかというふうに思っております。今まで悪影響を及ぼさないというようなところを調査によって確認するという事を今までやっていたところで、そちらに少し時間がかかっておったというところで障害になっておったというふうにお感じになったかと思えますけど、整備事業を進めていくために石垣は大丈夫ですよという事を確認しておる時間がかかっておるといところでございます。

それから熊本城に関しましては、何故そこが残ったかというのは、なかなか偶然の要素というのはあろうかと思えますけども、隅の石というのは特別な組み方もしておりますので、そういったところが影響するのではないかなと推測はするんですけど、正直なところはわからないとしかお答えできないかなと思っております。

司会

はい。ありがとうございます。あとバリアフリーの事お願いします。

荒川名古屋城総合事務所主幹

はい、バリアフリーの事、名古屋城非常に沢山の入場者数がある中でバリアフリーがやれるのかというご質問でしたけども、バリアフリーの技術につきましては、今後公募により広く技術を募っていきたいと考えておまして、そういった利用者数ですとかね、そういったところも含めまして技術を選定していきたいというふうに考えております。もう 1 つ、とにかく早く造って欲しいという事で、今日スライドの方でもお見せした本丸の将来構想という絵をお示しさせていた

だきましたが、まずは天守閣をやらさせていただいて、その後につきましてはそれぞれ調査研究を進めながらですね、1 つずつ取り組んでいく事になりますので、本丸全体を江戸期の姿にするというのは、非常に将来長い時間をかけてやっていく事になると思います。おそらく私もそれを見る事はできないだろうなと思っておりますので、ご理解賜りたいと存じます。

司会

はい、ありがとうございます。はい、最後のお1人にしたいなと思っているんですが、初めての方をお願いしたいと思って、こちらの方をお願いします。すみません、お願いします。

市民E

どうも今日はありがとうございました。城好きな昭和区民でございまして、今まで現存12天守全部回っております。そんな城好きな私はもちろん名古屋城の天守復元、賛成です。応援しております。が、質問させていただきます。確かに今日の新聞にも「着実に前進している」というコメントがありましたけれども、まあどうなのかなという感じが正直今日の説明を聞いても思いました。確かに名古屋市の中では前進しているのかもしれませんが、今日のこのチャートを見るとどう考えても復元検討委員会が最大の山場で、ここでどうなるかでその先がひっくり返るかどうかが決まるんじゃないかというふうに私には見えただすけれども、そういう意味では後退はしてないかもしれないけれども着実に前進していると果たしていえるのか、今後どこを目標に復元計画を進めていくのか、という事を伺いたいと思います。

それから、質問は1つです。要望はありますけれども、先程計画の中で本丸全体の復元も将来的には考えていきたいという事で、まずは天守の復元を終えてからという話がありましたが、僕はそこをちょっと考え直して欲しいなと思っておりまして、例えば金沢城なんていうのは長い時間をかけて櫓そして門という、少しずつ確実に曲輪の復元を進めてきた経緯がある。そして今非常に見事な観光資源が出来上がっているわけですけれども、目先の事だけ、こう、次これやったらこれという事だけでなく、やはり本丸全体の将来的なある程度の、何年くらいまでに全体を完成させたいのかというのが僕はあってしかるべきじゃないかなと。金沢なんかはちゃんとそうやってやっています。着実に1つ1つ史跡を復元してます。これはちゃんと集客にも結び付いているので、本丸、じゃない、天守をやったら次本丸という事じゃなくて、ひょっとしたら同時並行的でも良いんですけども、着実にそういうタイムスケジュールをですね、作っていただければと思います。先程の方には申し訳ないですけど、僕は1日も早く本丸、ああ名古屋城を復元して欲しいと思っていなくて、

司会

あと30秒をお願いします。

市民E

着実に100年後もちゃんと皆が愛されるような施設を造って欲しいと思っているので、急がずに、あまり「着実に前進している」とかですねそういううわべの事は言わないで、しっかり足場を踏まえつつ前に進んで欲しいなと思ってます。以上です。

司会

はい、ありがとうございます。ご質問の方は、こちらの今日の市民向け説明会の資料の7ページの下のところですね。この復元検討委員会ってどういう事なんだろうという事で、目標はどれくらいにしているんでしょうか、進めていっちゃいますかというお話と、もう1つがご要望で、金沢城みたいに確実にこう将来像を描いて着実に進んでってくれると嬉しいなというお話でした。まずご質問の方をお願いして良いですか。

荒川名古屋城総合事務所主幹

はい、ご指摘の通りですね、復元検討委員会が最大の山場というのはご指摘の通りです。私どもとしましてはこの復元と、解体と復元を一体とした全体計画というものを来年度いっぱいかけてまとめていきたいと。その中には資料にありますように、石垣の保存方針ですとか基礎構造、バリアフリーといった大きな課題もございますけれども、何としてもこれは来年度いっぱいで作っていききたいと。その際には地元の有識者会議で有識者の十分な議論と合意形成を諮っていく事が重要だと思っております。その上で文化庁の方へ提出した後、そちらでの有識者のご意見をいただく事になるかと思っておりますけれども、名古屋城の天守、非常に日本一の天守でございますので、文化庁としてもおそらくこれだけの規模のものをやった事も無くて、どのくらい復元検討委員会に時間がかかるのかというのは正直読めないところでございます。本丸御殿の事が3回開かれておりますが、とてもその3回では終わらないだろうと思っておりますけれども、じゃあどのくらいかかるのかといった時にちょっと想像もつかないといったところもございます。ですので、我々としてはまずは当面の解体と復元を一体とした全体計画を来年度末までにまとめていきたいと、いうところがまず1つの目標になっております。

司会

はい、ありがとうございます。よろしいですか、よろしいですか。はい、ではありがとうございます。多くの方にご質問いただき、ありがとうございました。閉会の時間がまいりましたので、最後に河村市長より一言閉会のご挨拶を申し上げます。

河村名古屋市長

はい、それではありがとうございます。コロナもありますし外も相当寒いですから、「会場寒くないか、温度上げろ」っていいましたんで、「ちょこっと温度上がった」と言ってますんで。ちょっと寒かったかもしれませんが、すみません。まあ1つだけ申し上げておきますと、文化庁から私が言われた事ですけど、僕も73ですので、先程お話があったように八事が近いわけですが、これ。だでこれ見れんかもわからんで「とにかく早う名古屋の人のね夢というか1000年大事にできる国宝1号ですので、かつての」といいましたら、文化庁が「河村さんの気持ちはようわかるけど、とにかく12だったかな天守は、現存天守が12で、コンクリート復元したのも12だと思っけども12か13だったかな。あって、皆同じように戦後のやつは寿命が来とるもんだでどうするかという問題になるんで、なんと第1号が最大のお城である、国宝1号である名古屋城になっちゃったと。という事だから丁寧な上にも丁寧にやらさせて欲しい。」というのは文化庁が言っ

て。最近思うのは確かにその通りで、首里城ですね沖縄の、あれをどうするのか、燃えちゃったんですけど。これ僕はあれをコンクリートで復元するという話はい言も聞いた事が無いです。そんな事いえたくないと思います、当然木造復元になると思いますけど。この間 NHK で和歌山城、ついこの間です、和歌山城の復元は問題になってるって、けっこう長い番組ですけど、あれも戦争で燃えていますから、和歌山城は。という事でございますので、まあわしもとにかく早うやりたいんだけど、そういう事で「河村さん、丁寧が上にも丁寧で頼むわ。」と。「頼むわ」って言ってまあちょっときちんとしたいいい方ですけども言われましたんで、そう言われた以上しっかりやろうと。造った以上は 1000 年は大事にしようと思っておりますね、そんな気持ちでやらさせていただきますという事でございます。そんな事で、えらい長時間に渡りましたが、お越しいただきましてありがとうございます。また、色々ご意見いただければと思います。ありがとうございます。

司会

ありがとうございます。以上を持ちまして、「名古屋城天守閣木造復元 市民向け説明会」を終了いたします。混雑緩和のため、ご案内まで席でお待ちください。座席記入カード、アンケート用紙を、出口で回収いたします。また、他にご質問がある場合はアンケート用紙にご記入ください。愛知県が厳重警戒での感染防止対策を要請しておりますので、早めにご帰宅いただきますよう、お願いいたします。

それでは、お忘れ物の無いよう、お気をつけてお帰りください。本日は誠にありがとうございました。

(3) 説明会（会場：鯨城ホール）の記録

① 開会

司会

お待たせいたしました。本日はお忙しい中、ご来場いただきまして誠にありがとうございます。只今より、「名古屋城天守閣木造復元 市民向け説明会」を開会いたします。

私は、本日の司会進行を務めます、浅野と申します。どうぞよろしく願いいたします。

始めに、本日の市民向け説明会の進行についてご説明いたします。

まず、名古屋城調査研究センターの学芸員による講演を30分程行います。その後、名古屋城天守閣木造復元事業の状況についての名古屋市からの説明を、30分程行います。休憩を挟みまして、会場の皆様から、名古屋城天守閣木造復元事業についてのご質問をお伺いいたします。ご質問のお時間には限りがございますので、進行にご協力くださいますようお願いいたします。説明会は午後3時30分頃終了予定となっております。

次に、本日お配りした資料についてご案内をいたします。受付で本日の説明会冊子、資料冊子、座席記入カード、アンケート用紙をお配りしております。説明内容は、こちらのスクリーンで映写いたしますが、お手元の資料でもご確認いただけます。

また、座席記入カードとアンケート用紙につきましては、お帰りの際に出口で回収いたします。退場は、混雑緩和のため、会場の前半分と後ろ半分を分けまして、後ろの方から退場をご案内させていただきます。

なお、報道機関による取材が入る場合がある他、記録写真の撮影を行っておりますのでご了承くださいますようお願いいたします。

始めに、開会にあたりまして、名古屋市長河村たかしより一言ご挨拶を申し上げます。

河村名古屋市長

はいそれでは、今日はちょっと寒いですがね。またコロナの大変な時によいお出でいただきましてありがとうございます。まず最初に、ちょっとこう派手な服を着ておりますけども、せっかく今日名古屋城の最後ですから、有松絞と、有松・鳴海絞。これは名古屋城を造る時に400年前に西国、西の方の大名に、天下普請という事で築城し、丁度その時に集まってきた大名の中に豊後地方、今でいう大分県です、九州の大分県の絞り職人がおまして、こっからちょっと二説あるんですけどね、手拭いを豊後地方の人がなかなかええ手拭いを持つとって、尾張藩がこれええなってどうやって作ったんだって言って、皆で絞りのやり方を工夫したという説と、豊後地方の人が絞りを作る職人だったと、それでこうやったらどうという事で作りかけた。名古屋城のその生まれと全くセットなんです、これは。でございますので、どうか皆さんですね、私今日感動したのがウィキベティアってありますわね、あそこ見ておったら有松絞の欄に名古屋市長の河村たかしがいつも着ると書いてあって、人間まあありがたい事もあるなと思いました。ご承知のように商売大変ですので、絞りの人もですね人件費が安いところもようけあるわけですよ、そんな事で非常に大変で、特に絞るとかくくるといのかそういう集中的にやる作業が必要なんです、自閉症的な人が結構作ってくれておって、わしがいうのもなんですけど非常に喜んでもらっていると、わたしたちにテレビで出ますもんで。派手なシャツ来て「アロハシャツ」だどとろい事言っている人もおりますけど、そういうのと全く違いますのでこれはですね、名古屋の産業

を大事にし不自由な方を皆で応援するという気持ちを持って見ていただければという事です。今日は最後でございますので、わざと派手なやつを着てきたと思われるかもしれませんが、ご理解をお願いします。今日はお出でいただきましてありがとうございます。

② 名古屋城調査研究センター学芸員による講演

司会

それでは、名古屋城調査研究センター学芸員の木村有作より、「特別史跡名古屋城跡 ～文化財の宝庫名古屋城～」と題して講演を行います。

—学芸員による講演—

③ 名古屋市からの説明

司会

ありがとうございました。続きまして、名古屋城総合事務所所長佐治より、名古屋城天守閣木造復元事業の状況について説明いたします。

佐治名古屋城総合事務所長

皆様こんにちは。名古屋市観光文化交流局名古屋城総合事務所所長の佐治と申します。これから名古屋城天守閣の整備について、ご説明いたします。なお、本日のご来場が2回目、3回目となるお客様にとりましては同じ説明になりますが、どうぞお付き合いいただきたいと思います。スライドでは、お手元の資料に沿ってご説明いたしますが、より詳しい資料として別で資料冊子もご用意しております。参考にご覧いただければと思います。

名古屋城は、尾張名古屋のシンボルとして、築城から400年以上親しまれております。また、国宝と同格とも言われる特別史跡に指定されておりまして、天守の規模や本丸御殿、石垣の量、二之丸庭園の規模を見ても世界に誇れる日本一の城郭といえます。現在、名古屋市では特別史跡名古屋城跡の歴史的・文化的価値を伝え、魅力をより一層高め、後世に継承するため、文化財の保存・活用を進めております。

名古屋城の縄張の内、天守や本丸御殿、櫓や門で構成される本丸は、近世期最高水準の技術により築城された名古屋城の象徴といえます。名古屋市では、その名古屋城本丸を往時の姿へ復元すべく、本丸整備基本構想を策定いたしました。名古屋城は、徳川家康の命により慶長15年、1610年に築城が開始され、完成後は尾張徳川家の居城として江戸260年にわたって栄えました。明治に入り、廃城令のもと多くの城郭が取り壊されていく中、名古屋城の保存を訴える声が高まり、明治12年、1879年には姫路城とともに日本の城郭の見本として永久保存される事となりました。この構想では、そのような名古屋城の象徴である本丸を江戸時代の姿に再現する事を目指しています。現在の本丸には、当時のまま残っている石垣や建造物等があり、これらを大切に保存管理していくとともに、戦災で失われた建造物などは、残された史資料をもとにそれぞれの特徴を伝えられる姿で復元していく事で、往時の本丸全体の空間構成を実体験できる場にしてまいります。

現在の本丸の状況をご覧ください。まずは、特別史跡名古屋城跡の本質的な価値を構成す

るものとして、江戸時代から残る天守台を始めとする石垣がございます。そして、赤枿、映りませんねすみません、赤枿の建造物等も江戸時代から残るもので重要文化財に指定されており、西南隅櫓、東南隅櫓、本丸表二之門、そして愛知県体育館建設のために解体され保管されていましたが、その後に移築された旧二之丸東二之門がございます。また、戦後に鉄骨鉄筋コンクリートにより外観復元された現天守閣、平成 30 年に江戸時代の寛永期の姿に完全復元された本丸御殿などがございます。

次にご覧いただくのが本丸の将来構想図です。現在、旧国宝であった天守の木造復元を進めていますが、将来的には焼失してしまった東北隅櫓や櫓門、これには本丸表一之門、本丸東一之門がございます。そしてそれらをつなぐ多聞櫓、南と東にある巨大な馬出、本丸大手馬出と本丸搦手馬出でございます。それらの再現を目指しております。先程ご説明した石垣や重要文化財となっている建造物に加えて、復元された建造物等により再現された江戸期の姿を楽しんでいただくとともに、屈指の防備を備えた本丸の役割や機能の理解をより深めていただく事ができるようになります。

基本構想の中では、本丸復元の、木造復元の意義についても整理しておりまして、本丸の中心である天守を木造復元する事により、本丸に現存する櫓や門、復元された本丸御殿とともに、江戸期の本丸を実体験できるようになります。将来は、更に再現する建造物等と合わせてご覧いただけるようになります。また、名古屋城の天守は、先人達が残してくれた豊富な史資料により外観のみならず内部空間、構造に至るまで史実に忠実に再現する事が可能であり、その特徴を始めとする史跡の本質的価値の向上と理解の促進につながります。

文化財の復元における世界的な観点からも、木造建築物の復元の一つの指標となりえます。更に、伝統工芸を実践する一大事業であり、ユネスコ無形文化遺産代表一覧表に登録された木造建築物を受け継ぐための伝統技術の継承と実践の場となるものと考えております。全国にも名古屋城と同じように、戦災等で失われたり戦後再建された天守があり、名古屋城の木造天守復元がそれらの復元の重要なモデルケースともなります。

さて、ここからは復元事業の進捗状況についてご説明いたします。文化庁の初見・指導への対応として、まずは文化庁の初見が示されるまでの経緯についてご説明いたします。平成 31 年 4 月に文化庁へ提出した現天守閣解体の現状変更許可申請に対し、その年の 9 月に文化庁より指摘事項が示されました。指摘事項は大きく 2 点ございまして、1 点目が「現天守閣の解体・仮設物設置等が石垣等遺構に与える影響について」でございます。これに対しましては、考古学的視点及び工学的視点を合わせた総合的な視点からの調査・検討を実施し、その結果について各分野の有識者による十分な議論の上、影響は軽微であり、計画が適切であるとの合意を得ました。また、その際に整理した課題については、引き続き今年度に調査・検討を進めております。次に 2 点目が、「現状変更を必要とする理由について」でございます。こちらにつきましては、有識者の合意を得た上で保存活用計画に基づく名古屋城本丸及び天守の整備基本構想として、近世期最高水準の技術により築城された名古屋城の象徴である本丸の姿を現代に再現するため、また史跡の本質的価値の向上と理解促進にとってより大きな効果が得られる事から、現天守閣を解体し木造天守の復元をするとの整理をいたしました。これらの回答を令和 3 年 5 月に文化庁に提出し、6 月には文化審議会文化財分科会からの所見が本市に伝えられました。

次に、その文化庁の所見・指導の内容についてご説明させていただきます。まず、文化審議会

文化財分科会からいただいた所見といたしましては、「現天守の解体・仮設物設置が石垣等遺構に与える影響を判断するための調査・検討が一定程度進捗したものとの評価できる。天守解体と木造復元を一体の計画として審議していく必要があると認められる。申請については、天守解体のみならず、木造天守復元についても一体としてその内容に加えるよう、見直しを図るのが適当である。」とされております。

また、文化庁からの指導では、「有識者による合意形成を行いつつ、仮設物設置等が石垣等遺構に与える影響について、引き続き調査・検討されたい。まずは、令和3年度中に調査・検討している各項目については、その調査・検討の結果を文化審議会文化財分科会第三専門調査会に報告されたい。木造天守復元の具体的内容については、史跡等における歴史的建造物の復元等に関する基準に準拠した適切な内容となるよう必要な調査・検討を実施されたい。石垣等遺構の保存に問題がなく、かつ、歴史的建造物の再現行為として適切である事等、必要な条件が整った段階で解体と復元を一体とした現状変更許可、現状変更を提出されたい」とされております。なお、文化庁への現状変更許可申請手続きに入る前には、復元検討委員会という文化庁の有識者会議で復元の計画をご議論していただく必要があり、そのためには「石垣保存方針、基礎構造、バリアフリーの方針など諸課題を含む、解体と復元を一体とした全体計画をある程度まとめる事が必要」とのご指導をいただきました。

ここからは、今後の流れについてご説明いたします。今後の流れといたしましては、文化庁や有識者からの指導・助言を受け、地元有識者の合意形成を諮りつつ、令和4年度末を目途に全体計画を策定し、復元検討委員会でご議論していただけるような状況を整えてまいりたいと考えております。

ここからは、その解体と復元を一体とした全体計画に含める事が必要だとされた主な課題について説明をさせていただきます。まず、石垣保存方針につきまして、天守台等の石垣を確実に後世に伝えるため、現況調査の結果を踏まえて、対象範囲の石垣・石材の今後の保存及び修理の考え方を整理する事を目的としておりまして、対象範囲は天守地下1階の穴蔵石垣を含む天守台石垣と、天守閣整備事業の工事エリアとなる御深井丸側内堀石垣等としております。進捗状況といたしましては、外観調査票の作成等の基礎的な現況調査は終わっておりまして、現在、調査が終了した部分の保存、修理の考え方について検討しているところでございます。また、御深井丸側石垣の背面の空隙を調査するためのレーダー探査、穴蔵石垣の発掘調査等の追加的な調査を実施しているところでもあり、対象範囲の石垣の現況把握を引き続き進め、調査の結果に応じた石垣の保存、修理の考え方を整理し、有識者に諮りつつ石垣保存方針を確定し、全体計画に反映させてまいります。石垣保存方針の策定後は方針に従い、継続的に石垣・石材への対策を実施してまいります。

次は基礎構造の方針についてです。現在、優先交渉権者が当初提案をした跳ね出し工法を見直す事として、基礎構造の検討を進めているところでございます。その検討の考え方といたしましては、「文化庁が定める『史跡等における歴史的建造物の復元等に関する基準』を遵守する。江戸期からの姿を残す文化財である天守台本来の遺構には新たに手を加えない事を原則とし、その上で可能な限り史実に忠実な復元を行う。熊本地震での熊本城の被災状況を鑑み、人命の安全確保を第一とし、木造天守は大地震時に崩壊する可能性がある天守台で支持しない基礎構造とする。」こういった事を前提に進めております。現在、石垣埋蔵文化財部会、天守閣部会等の有識者で構

成し、基礎構造の検討を行う「名古屋城木造天守基礎構造検討に係る調整会議」を設置しまして、概ね2月に1回開催して確定した基礎構造の方針を、復元計画に反映するということでございます。

次はバリアフリーの方針についてです。失礼いたしました。木造天守におけるバリアフリーの実現のために、昇降技術の公募を実施いたします。公募によりできるだけ多くの方が使用できる昇降技術を募り実用化する事で、史実に忠実な復元とバリアフリーの両立を目指します。公募においては、大天守の内側を垂直に昇降する技術、大天守の階段を直接昇降する技術、外部から直接大天守の1階以上に入場できる技術等、幅広く技術を募集してまいります。その際には「大天守の柱、梁を傷めない事、大天守1階まで昇る事を最低条件とし、可能な限り上層階まで昇る事ができる事を主な条件」としております。また、高齢者、障害者等からの意見を踏まえ、昇降技術を選定していきます。今後は公募により昇降技術を選定し、その選定技術を含めた木造天守全体のバリアフリーの方針を、復元計画に反映していきます。

次に、木材の調達・保管状況についてご説明いたします。江戸時代、名古屋城を築城するため、「裏木曾地域から大量の木材を調達した」という記録が残されております。木造天守復元に使用する木材は、裏木曾地域を始めとした木材関係者のご協力をいただき、全国各地から調達しております。平成30年7月の契約締結以降、木材を2071本調達しました。現在、木材は岐阜県、愛知県、奈良県、高知県内の倉庫にてそれぞれ保管されております。調達した木材は直射日光を防ぎ風通しが良い適切な環境で保管する事により、木材の品質を保つ事ができます。木材の表面が変色する事はありますが、使用前に修正製材を行うため問題とはならない事を複数の宮大工の方から伺っております。

次は機運醸成についてです。これまで、機運醸成として事業へのご理解を深めていただく機会を作る他、イベントブースや城内などで募金活動や、金シャチパートナーからのご寄附・ご支援もいただいております。いただいたご寄附は、木造復元事業に活用させていただいております。

さて、最後になりますが、復元事業の推進の取り組みとして、今後も文化庁や地元有識者からの指導・助言に基づき適切に対応し、史跡全体の適切かつ厳格な保存を最優先にし、石垣等遺構に影響を及ぼす事の無いよう、慎重に整備を進めるとともに、市民の皆様の木造復元事業への理解が深まるよう機運の醸成に努めてまいります。

以上で名古屋市からの説明を終了いたします。名古屋城天守閣木造復元事業について少しでも皆様の理解を深めていただく機会となりましたら幸いです。ご清聴ありがとうございました。

④ 休憩

司会

ありがとうございました。

それでは、準備のためステージを整えますので、10分程の休憩をいただきます。併せて、これ以降閉会まで会場内のドアを開け、換気をさせていただきます。何卒ご理解の程、よろしく願いいたします。

⑤ 質疑応答

司会

お待たせいたしました。

ここからは、名古屋城天守閣木造復元事業につきまして、皆様からのご質問をいただきたいと思っております。時間は15時20分頃までとさせていただきます。なお、名古屋城調査研究センター学芸員による講演についての質問は、この場ではご遠慮いただきますようよろしくお願いいたします。天守閣木造復元事業についてのご質問に限らせていただきます。何卒ご容赦ください。

最初に、会場の皆様からのご質問にお答えする職員等を紹介いたします。

名古屋市長河村たかしでございます。

名古屋市観光文化交流局局長の折戸でございます。

名古屋城総合事務所所長の佐治でございます。

主幹の荒川でございます。

主幹の荒井でございます。

主幹の梅田でございます。

調査研究センター副所長の村木でございます。

主幹の柴田でございます。

株式会社竹中工務店でございます。

それでは、只今よりご質問を伺います。

ご発言につきましては、できるだけ多くの方からいただきたいと考えておりますので、お1人様3分以内で、簡潔にご発言いただきますようご協力をお願いいたします。なお、2分30秒になりましたら、私からお知らせいたしますので、残りの30秒にてお考えをまとめていただきたいと思っております。また、これまで2会場やっております、そういった他会場を含めましてまだご発言をされていない方を優先とさせていただきたいと思っておりますので、まずは初めてご発言される方から手を挙げていただきたいと存じます。手を挙げていただきますと、会場におります係の者がマイクお持ちしますので、ご発言はマイクを通してお願いいたします。それではどなたかご質問ある方はいらっしゃいますでしょうか。

すぐ、ちょっと手が挙がりましてので、じゃあ、一番手前のこの真ん中の二列目のこの緑の方、お願いいたします。

市民A

先程はどうもありがとうございました。簡潔にすみません。聞きたい事が3つ4つあるんですけども、聞きたいのがまず3ページのところにあります、今回こうやっていきますというような想像図といいますかパースというかなんですけれども、これだと今ある売店とか何かをどけて庭を造っていると想像するんですけども、そこの辺についてどうするのか。そうするという事は今ある外とかにある階段とかも含めて全部どけちゃってなくなる事を考えて作っているのかという事。そうすると今ある事務所的な設備とか何とかイメージだけど印鑑を押しているところと何とかは設備を全部どけてどこにいくんですかというんじゃないですけどそれについて説明をお願いしたいのと、2つ目の質問はエレベーターとか何とか乗り物とかあるけれども、それについてこっちの資料は前の時は今ある外付けといいますかそれが良いかどうか。で、造園となると

天守の部会とかの検討を1回か2回しかやってないじゃないですか。これについてなんで開催日数とかが1日とか2日とかそういうふうに、片方は全然やってませんとかいうふうになっているのかというのを説明していただきたいのと、ちょっと忘れちゃったけど名古屋城の中の本丸とかどっかの水漏れ、それについて、何がどうしてこういうふうに起きて現状どういうふうに進んでますというのを説明していただけるのであれば、その説明をいただきたい、という4点をお願いしたい。

司会

はいありがとうございます。最初の方の今の整備の話がまず1つと、それからエレベーターのお話、それから天守の部材のお話でしたかね、最後は聞き取りにくかったのですが、

市民A（マイクなし）

本丸かどっかの水漏れ。

司会

水漏れの話ですね。以上4点についてお願いしたいと思いますが、順番にお願いできますでしょうか。

荒川名古屋城総合事務所主幹

はい、まずおそらく将来構想におきまして今あるお土産屋さんですとかおトイレなんかの便益施設の事のお尋ねだったと思うんですけども、そちらにつきましては今後整備を進めていく中ですね、再配置ですとか、あとは見た目もありますので、中に江戸時代を復元していくという中で違和感の無いそういった外観、そういったものにしていきたいと思っています。あとはこの絵の中には落としてないんですけども、これ以外にも小さな建物というのはいくつか本丸の中にございますので、そういったものに寄せていくような形で考えていきたいと、今後の検討という事もありますけど、そういったふうに考えていきたいと思っています。

梅田名古屋城総合事務所主幹

エレベーターの件についてご質問いただいたかと思います。現在、外付けのエレベーターが地上から1階まで大天守1階までつながっております。また内部にも地下1階から5階までエレベーターがございますけども、今回公募、昇降技術の公募をしてみたいんですけども特定の技術を排除する事なくより幅広く昇降技術の提案を受け付けたいというふうに考えてございますので、エレベーターの技術も含めまして幅広く募集をかける方向で考えております。

荒井名古屋城総合事務所主幹

木造復元をする上で木材についてのご質問いただいたという事でよろしいでしょうか。

市民A（マイクなし）

部会の開催について。

荒井名古屋城総合事務所主幹

基礎構造検討に関する会議の回数に関するご質問でしょうか。

市民A（マイクなし）

天守の部会について。

司会

天守閣部会の。

市民A（マイクなし）

天守閣の部会を全然やらなかった。

荒井名古屋城総合事務所主幹

天守閣部会につきましては、昨年度末ですね、文化庁からの指摘事項に回答するために宿題というものの取りまとめをしております、それを有識者にご説明をさせていただいてご意見いただくというのを昨年度末なので令和3年3月にですね開催をさせていただいております。

市民A（マイクなし）

なんで1回しかやらないの。もっとやっても良いでしょ。

荒井名古屋城総合事務所主幹

仰る通り平成29年からこの事業を進めておまして、平成29年、30年、31年、令和元年度と天守閣部会は数多く開催しております。で、その当時は復元をどうするかという事で昔から残っている史資料、今日も学芸員の方からの紹介もありましたが歴史資料について紐解くといえますか、昔がどうだったかという検証をしておりました。で、その事につきまして平成29、30年頃につきましては、かなりの数を、天守閣部会を開催をさせていただいてまして、それ以降ですね、昨年度以来、今年の5月にですね文化庁に解体の申請に対する指摘事項、その回答を返すという事を一番我々としてやってきましたんで、その事についての部会を開催してお諮りする事が一番重要になっておりますので、ご指摘のように何故開催しないのかというのに対し申し訳ありませんが、必要に応じて開催するというやり方しておりますので、申し訳ございません、数は少なかったかなというふうに思っておりますが、十分先生にもご議論していただいておりますのでございませう。

佐治名古屋城総合事務所長

4つ目のご質問は水漏れの事でよろしいですか。今年の正月の初めに本丸御殿の障壁画を描いている仮設模写室の中で起きた水漏れの事でよろしいでしょうか。はい、1月5日のお昼前にですね、本丸御殿の障壁画の修復事業を進めておまして、その倉庫というかそこで空調がちょっと不調になりまして水漏れ事故が起きました。中には完成したものとこれから描くものの部

材みたいなものが保管してありまして、シートで覆ってあるような状況なんですけどシートを通じて描いた絵に少し水が染みたとかそういった状況になりまして、今のところその進捗を経過観察しておりますが、絵に大きなダメージがあったという状況ではありません。で、その事故の原因につきましては今現在調査中でございます。よろしかったでしょうか。

司会

はい、ありがとうございました。では次の方、今すぐちょっと手が挙がりまして、今の緑の方のちょっと後ろの5列目くらいのこちらの方でお願いします。

市民B

昭和区から来た（個人名）ですが、4つ程あります。まず最初にですね、令和2年に市長から突然、市民から見ると突然なんですけど文化庁の方から解体と木造と一体で条件付きではありますけれども着工許可が出た、この間に何があったんですか。許可を持って行った、許可に持って行った功労者、あるいはポイントこれはなんだったんですか。それを1つお聞きしたい。それから2番目はですね、名古屋城の木造化、石垣保存が認められた時にですね、市長は「石垣保存研究では全国でトップを走る機能や機関を持った、設けたい」と記者会見の際に言われたんですけども、それが現在どの辺まで進んでおるんですか。それが2点目です。それから3点目、完成時期がまだ明確にされていません。私が昭和区役所での説明会の時に「データサイエンスとかAIを活用すれば十分ですね、かなり正確な推定ができるはずだ。」という事を申し上げたんですが、担当者からは「それを推進しています。」という回答があって、昨年、平成、令和、平成でいうと27年ですか、その頃にはできるというような持論が出たんですが、それに対して市長はOKという返事を出していないわけですね。その辺は事務当局と市長との間は何の辺まで詰められておるんですか。これが3点目です。それから4点目ですが、バリアフリーについて、色々な意見があります。それから公募をしろというふうになっているんですが、どちらかというと対象がハンディキャップの人が中心になっているわけですけども、私も85歳です。実際に考えますと高齢者、高齢者に対する。

司会

そろそろまとめに入っていただきますようお願いします。

市民B

配慮が何も行われていない。やっぱり高齢者がですね沢山見に行くという事が、名古屋城をますます発展させる大きな要因だと思いますけれども、それぞれご担当者のご見解を伺いたい。以上です。

司会

はい、ありがとうございます。4点程ありましたよね、平成、令和2年の文化庁の許可のポイントは何だったのかという話とか。それから2つ目が石垣保存に関して以前市長が「全国トップを走る」と言われたところに関してどこまで進んでいるのかという話。それから完成時期が明確

でない話、これが市長と事務局とでどこまで話が詰められているのかという話、特に以前昭和区に出られた時に「データサイエンスなんか使ったらできるんじゃないか」という話もされたけど、何かその辺の回答がまだ明確じゃなかった話とか。そしてあとバリアフリーの問題として、障害者だけじゃなくて高齢者の方も考えてくれという、その4点だったかと思いますがいかがでしょうか、順番にお願いできればと思います。

荒川名古屋城総合事務所主幹

まず文化庁からの所見のお話かと思います。資料の方の5ページになりますけれども、上段の方に書いてございますが、まず文化庁さんからいただいていた指摘は大きく分けて2つございました。1つは解体の申請を出しておりましたので、その解体するにあたって石垣ですとかその他地下の遺構ですね、そういったものが影響無いかどうか逐一調べなさい、という事が1つと、解体するにあたって解体する理由は一体何でしょうか、その辺の整理がまだされていないんじゃないですかというご指摘をいただいております。今回、令和2年の5月に文化庁さんに返しまして、6月に所見という形ででてきたんですけども、ポイントとしまして、まず石垣等遺構への影響につきましては我々きちんと、先程スライドでもご紹介しましたけれども考古学的な調査と工学的な、いわゆる工事をやるにあたって力学的な検討、そういったものをきちんとやった上で地元の有識者の方々のご意見をきちんと聞いた上で回答した事で、一定の評価を得る事ができました。あと、木造復元する理由、現天守閣を解体する理由という事で、先程もご説明させていただきましたけれども、基本構想という形でまず本丸を江戸期の姿に近づけ、持っていくと。その中で今本丸御殿があって平成30年に完全復元されて、それに続いて天守閣を復元する事で大きく江戸期の姿が見えてくるというような絵を描いております。そういったふうに整理したのであれば解体だけではなくて復元と一体として文化庁としても審議する必要があるので、それを合わせて出してくださいという事を言われておりました、合わせて許可申請を出してくださいという以前に文化庁さんの方の有識者で議論いただく必要がありますので、その議論に必要な資料として解体と復元を一体とした全体計画を出してくださいという事を言われております。これまで文化庁さんとは色々ご相談だとかご指導いただいておりますけれども、それは主に天守閣そのもの、個別の話で色々ご相談・ご指導をいただいております。今回初めて許可に向かって色々な手順だとか手続き、そういったものが明らかになるようなご指導をいただけましたので、そういったところが大きく変わったところかなというふうに思っております。

それと完成時期の件についてはですね、今回回答を出していくにあたって地元有識者の方との十分な議論と合意形成を諮ったという事が非常に大きなポイントだったと思っております、来年度作る計画につきましても、同じようにやっていく必要があると思っております。それは非常に丁寧な上にも丁寧に調査・検討を進めた上で作っていく必要があると思っております、そこがまた1つ大きなポイントになってくると思っております。で資料のですね7ページを見ていただきますと、最初の、7ページの下側ですね。大きな矢羽の中に色々白抜きで書いてあるところがございますが、これらは来年度以降こういった事を検討してやっていくんですけども、このあと復元検討委員会というものがございまして、これが文化庁さんの有識者会議でございまして。名古屋城の天守閣っていうのは、日本で最大の天守でこれまでにこれだけ大きな規模で復元という事をやった事が無いもんですから、どのくらいこの復元検討委員会で時間がかかるのか、今正直つかめな

いというのが正直なところですよ。文化庁さんもおそらく答えが無いと思います。なので、まず我々としてはまず全体計画を丁寧に作っていく事、これができれば復元検討委員会に入って行ける段階になってくるといいますので、復元検討委員会は1回始まれば途中で中断する事なく結論まで行くというふうには聞いておりますので、その見通しが立ってきた段階で完成時期が見えてくるのかなと思っております。

村木名古屋城調査研究センター副所長

続きまして、石垣の研究がどのくらい進んでいるかというご質問をいただきましたので、それについてお答えさせていただきます。「日本一の石垣研究のセンターを目指す。」という事を受けまして、設立されましたのが名古屋城調査研究センターという組織でございます。今日最初の講演を差上げた職員ですとか私も含めまして所属しております、その最初の前半部分のスライドにもありましたように、城内の石垣調査でありますとかその他の埋蔵文化財の調査等かなり精力的に取り組んでおるつもりでございます。その調査研究センターなんですけれども、金沢城でありますとか熊本城でありますとか、先行する城郭をモデルにして組織を作っておるんですけれども、体制といいますか人数といった点ではかなり近づいたところまで来ておりますけれども研究のレベルといいますか内容というのは、なかなか研究だものですから一朝一夕に日本のトップ、世界のトップというわけにはまいりませんので、職員も若い職員が、この組織を作った時に合わせて採用した職員も結構おりますので、そういった職員が力をつけていくのに合わせて研究のレベルも上がっていくというようなところでございます。私どもそういったところですね、ただ志は大きく持って日本のトップを目指すようなつもりでですね、日々精進しておるところでございますけれども、今のレベルが日本のトップかと言われると、それを目指してやっておるという事でご理解いただければと思います。

梅田名古屋城総合事務所主幹

バリアフリーのハンディキャップをお持ちの方以外、高齢者の方々からのご意見はどうかというご質問をいただいたかと思っております。お手元に資料冊子があると思っておりますが、その中の12ページ目をご覧くださいでしょうか。「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の一部を改正する法律案に対する附帯決議」という事で、バリアフリー法の改正の件でございますけれども、その中の18条に「障害者権利条約に則り、歴史的建造物のバリアフリー化を進めるため、歴史的建造物を再現する場合等におけるバリアフリー整備の在り方について、高齢者、障害者等の参画の下検討が行われるよう、必要な措置を講ずる事。」と定義されてございます。この事も踏まえまして、利用者の方々からご理解をいただくのが非常に重要だと考えておりますので、今回の昇降技術の公募におきましても最終の昇降技術を選定する前にハンディキャップをお持ちの方も加えまして高齢者の方々からもご意見を伺う場を設ける事を考えておりますので、その場でまた色々ご意見をいただければというふうに考えているところでございます。

司会

よろしかったでしょうか。

佐治名古屋城総合事務所長

1 つ補足させていただきたいと思います。先程の完成時期の関係で、今現在具体的な時期を示す事はできないんですが、令和 4 年度中に全体の計画を策定して、復元検討委員会にかけていくというこのスケジュールにつきましては、市長も我々事務方も認識が一致しているところでございます。

司会

はい、よろしかったでしょうか。では次の方、そちらの眼鏡の方をお願いします。

市民 C

中区の（個人名）と申します。10 ページにありますバリアフリーの方針についてちょっとお尋ねしたいのですが、本丸御殿に続いて天守閣は木造復元という事で非常に期待をしております。そもそも天守閣というのは敵が入ってこないように最後の戦いの場であるから、バリアフリーがあって良いものなのかという事を非常に疑問に思います。で、実際名古屋城の場合も小天守を通らないと大天守に入れない。その間にも色んなバリアがある。ましてや上へあがるためには急な階段とか非常に昇りづらい構造になってるはずです。それをやっぱり体験する事が、意義があるんでは無いかと思います。あまりにも昇る事とか、みんなにっていうのはちょっとどうなのかなと。バーチャルで体験できれば、私その頃には多分昇れなくなってると思うんですが、私ならバーチャルで十分満足いたします。犬山城に昇った時もやっぱり急な階段を昇って、これは敵が攻めにくいなという事を実感いたしました。だからあまりこれにこだわると本来の、観光施設の名古屋城になってしまうんじゃないかなと危惧いたします。やっぱり特別史跡を目指すなら、あくまで本物に根ざした小規模なバリアフリー対策にとどめていただきたいというのが私の希望です。現在、どの程度公募が集まっているのか、もしわかれば教えていただきたいと思います。以上です。

司会

はい、ありがとうございます。バリアフリーの程度も最小限にという事だったかと思います。本物をちゃんと復元するために、という事で。お願いします。

梅田名古屋城総合事務所主幹

ご意見ありがとうございます。障害者の方、あるいは高齢者の方々も含めまして色々な方々に文化財を体験し楽しんでいただくというのは大事な点だと考えております。いただいたご意見を参考にいたしましてこれから進めていければというふうに考えております。それから昇降技術の公募の方の技術の事ですけども、ちょっとまだ公募は始めておりませんので、どういう状況かというのはなかなかお伝えする事はできないんですけども、なるべく幅広く昇降技術のメーカー以外のメーカーからもご提案の方をいただければというふうに考えておりますので、その辺りはちょっとまだ今の段階ではいえない状況でございますので、ご理解を賜りたいと存じます。

司会

よろしかったでしょうか。あと、ちょっと時間の関係もありますので、残り、申し訳ありませんけど2人とさせていただきたいと思います。そちらの帽子を被っている方、お願いします。

市民D

南区の(個人名)と申します。3回この説明会を聞かせていただきましたが、名古屋城が木造で復元できるのかどうか全くよくわからない状態です。で今日聞きたい事はですね、6ページの問題ですね、市長さんが危ないで入っちゃかんと木造にしないかんで、という事で解体しましょうと、そういつて提案されたわけですよ。この時点で、ああこれは市長がそう言っているんだから、建築審査会にOKさせれば名古屋市は木造でできるんじゃないかという危惧を抱きましたが、やっぱり文化庁からは色んな条件が付いたようですね。それで6ページに「歴史的建造物の復元等に関する基準に準拠した適切な内容となるよう検討してください」といって、その下には「石垣等遺構の保存に問題が無いようやってください。」と、「石垣はちゃんと大事だから守ってくださいね。」っていう事ですよ。それから「歴史的建造物の再現行為として適切である事等、必要な条件が整った段階で解体と復元を一体とした現状変更を提出されたい。」というふうな文化庁の意見というか指導というふうに書いてありますが出てます。つまり、ずっとこの名古屋城の木造再建計画を見てますと、文化財保護法じゃなくて建築基準法の3条ですか、4条でしたっけ、もう燃えちゃった文化財を復元するんだから、それは復元できるでしょと言って、名古屋市の都市計画局ですか、その建築審査の諮問をして、市長が諮問するんかな形は、建築審査っていうのは。それでそこの建築審査会の有識者の先生達が「これは復元やむを得ない。」と結論を出された時に、初めて適用除外が適用されるというふうに僕は理解してます。そうするとこのところがクリアできないと、結局堂々巡りをする事になるのではないかと。先程見通しのお話をされていましたが、結局、

司会

そろそろまとめに入らせていただけますでしょうか。

市民D

はい、結局空転していますね。そこの安全性だとか今の構造等安全とかいう問題で、やっぱりきちんとクリアできてない、一番のイロハのイのところをつまづいているんじゃないかというふうに思いまして、木造のお城が良いという人の気持ちもよくわかりますが、それすら今の状況ではできないんじゃないかという危惧をしております。以上です。

司会

はい、ありがとうございます。今の質問につきましては、はい。

荒川名古屋城総合事務所主幹

はい、あの建築基準法の第3条で基準法を適用除外するという規定があるんですけども、建築基準法を適用除外するのが先ではなくて、それは後になってまいります。まず文化庁さんの方で復元をする事の許可を得る事ができれば、歴史的建造物の再現という事になってきますので、そうやって初めて3条の適用に移っていきます。なのでどういった法律もそうなんですけど、どれが先・後というのもあるんですが、どの法律も全てクリアしていかなくちゃいけないので、若干の前後関係はあるんですけども、そういった形で進めていく事になります。なのでその安全性だとかそういった事については建築基準法の、なんていうんだろう、法の趣旨といいますかそういったところも範囲になってきますので、その部分については建築審査会の方で我々今防災評定ですとか消防さんの方で今消防設備システム評価っていうものをとっておりますので、そういったものをベースにしてですね、現在の建築基準法と遜色無いものだというような事で同意をいただければ、その後特定行政庁、これも名古屋市になるんですけどもそこが認可すればですね、基準法の問題はクリアできるという事になってきますんで、1つ1つクリアしていく事になります。

市民D（マイクなし）

そうすると日程工程としては、全く今振出しに戻って、調査研究を始めてどういうふうにするかという事をやる、という事になっているという事ですか。

荒川名古屋城総合事務所主幹

調査研究というかまずは文化財保護法上の許可、これをとるために、今の

市民D（マイクなし）

文化庁に、文化庁の審査会にかけるための名古屋市の基本計画、今日の説明会の資料を見ると今まで無かった全体計画っていうか文化財として名古屋城をどうやって保存活用していくかというのが一番最初に来ましたね。それは一步前進だと思うんです。で、それをどうやって達成をさせてですね、文化庁との話し合いを進めていくかというのを、そうするとこの見通しというものがどうなるかという事が全然わからない。いつ頃どうなっていくんでしょうか、という事ですね。

荒川名古屋城総合事務所主幹

あの、よろしいですか。

市民D（マイクなし）

有識者の先生達とも名古屋市が話し合いを始めているようですが、その中で、

司会

一旦すみません、説明を聞いていただけると良いかと思えます、すみません。はい、お願いします。

荒川名古屋城総合事務所主幹

7 ページの方に「解体と復元を一体とした全体計画」というのがございますが、これを来年度いっぱいで作ろうと思っております。その次に復元検討委員会というのがございますが、これが令和 5 年度に入って行けるだろうと。これがどのくらいかかるかというのが、今のところつかめないところでございます。

司会

よろしかったでしょうか。そしたらすみません、次のあちらの方ですね。すみません、時間の関係でこの方で最後とさせていただければと思います。申し訳ありませんがご了承ください。

市民 E (用意された原稿を市スタッフが代読)

名古屋城木造復元について、今は天守閣の石垣の周辺に遺構が沢山あり重機を載せた作業で傷つける可能性があり、遺構調査が行われています。遺構がある中、重機を載せた作業をできるだけ避けられないかという事を考えたところ 2 つのアイデアを考えました。その 1、ヘリコプター 2 基を用意して天守閣の屋根やコンクリートの壁を専用の器具で切断して、解体した破片を少しずつヘリコプターで交互に別の場所に運びながら建築を解体していく方法。これなら重機を使わなくて済みます。ヘリコプターでも種類によってはかなりの重さを運べるはず、鯨だってヘリコプターで運んだので物理的には可能なはず。その 2、天守閣の手前には天守閣から見て右側に本丸御殿があり、左側には売店とトイレなどがあります。本丸御殿があるために解体作業場所が限られてしまっています。ならば左側にある売店やトイレをつぶせば、解体に使うスペースがかなり出てくるはず。そこで生まれたスペースを活用して、上手く解体できないかという事。木造復元されてから売店やトイレをもう一度再建すれば良いと思います。別の場所でもトイレや売店はあつし、全く問題無いと思います。この 2 つの方法を検討されてはいかがでしょうか。

司会

はい、ご提案ありがとうございます。今のご提案について。

荒川名古屋城総合事務所主幹

あの、解体にあたってのヘリコプターの活用という事なんですけども、昨年ですね金鯨を降ろした時に金鯨 1 体が約 1.2 トンちょっとございます、1.3 まではいかないんですが 1.2 トンちょっとあります。それで大型ヘリを持ってきて降ろしたんですけども、やはりあの辺りが限界かなというところもありますので、現在竹中工務店さんの方で仮設計画についてはですね、遺構に影響の無いような形の調査・検討を進めておりますので、これから今後詳細を詰めていきたいと思っております。

またヤードの確保につきましては、今計画しておりますのが西側お堀の北側の、内堀ありますけどもあそこを発泡スチロールの軽くて硬いもので埋め戻しまして、その上に構台を作ってですねそこを作業ヤードにしていこうというふうに考えております。今その計画につきましても、昨年度工学的な部分ですとか考古学的な部分で有識者の先生方にお諮りして、影響は軽微だという事でご了解をいただいておりますので、問題は無いというふうに考えているところでございます。

司会

よろしかったでしょうか。多くの方にご質問いただきまして、ありがとうございます。確かに手も挙がっていてご発言いただきたいところなんですけど、ちょっとやっぱりコロナ禍の関係で会場の時間も限られております。申し訳ありません、ここで打ち切りとさせていただきますと思います。

会場から（マイクなし）

せっかく市長がみえているんだから、市長から一言を。

司会

はい、最後にやらせていただきますので、ちょっとお待ちください。閉会の時間がまいりましたので、最後に河村市長より一言閉会のご挨拶をいただきたいと思います。

河村名古屋市長

はい、それではありがとうございます。まだちょっと寒いですね、コロナがありますのでお気をつけてという事でございます。まあとにかくこれは、世界で初めてなんですよこれはですね、国宝1号であった名古屋城と。それから法隆寺以降、法隆寺が大体1300年、1400年建ててますけど、法隆寺以降の木造の最高技術の建築物、名古屋城ですね。という事で、文化庁の人にも何年前になりますけど言っとったのは「わしは若作りしとるけど、はや今73ですね、八事にいかないかんがね。だでそれまでに昇れるか、これ」と話しとったら、文化庁が「河村さんの気持ちもようわかるけど」って。結局ねあと12か13あるんじゃないですかね、戦後コンクリートで造ったお城。これがみんな大体寿命に来ておるんですよ、だいたいコンクリートというのが、厳密にいうと使えん事は無いという事もありますけど、やっぱり危なくてはいかんもんで、12か13ある。そのお城をどうやっていくかというのの第1号が、なんと国宝1号の一番でっかいですねそれも、極端にでっかいですわ、姫路城の倍ありますから。いうふうに名古屋城がなったので、「是非河村さん悪いけども、丁寧な上にも丁寧にやらせてちょうよ。」と、まあ「ちょうよ」とはいいませんでしたけど「くださいね。」と、そういう話がありましたので、確かに今色々起こってる。例えば首里城ねこれ、燃えちゃったけど、これどうしていくかという話にもなる。それからこの間NHKでやっとなのが和歌山城、これをいよいよ、同じですわ、戦争で燃えちゃっとなんで。これをどうするかというような話もNHKテレビでやりました。全体の第1号だもんで、文化庁としてもまあその後の基準になる可能性があるわけですよ、これ、これは。だからそういう事で辛抱、辛抱してというか丁寧が上に丁寧にという話になっとな。かといって本当に死んでまいりますんでわしも、「とにかく早うやってちょう。」とは言っとります、これはですね。その辺のところは、先程ちょっとありましたけど何で一体になったかという事も、その他のお城もみんな一体ではあるわけですよ、石垣があってその上に天守が建っとなります。それぞれどうやってくのかという事について、バラバラにやってええものかどうなのかという事を考えていかなかんでね、これ。それでこういうふうになっとなという事でございます。まあちょっと長生きせないかんで

すわ、これ、本当に。しかし造ったら、法隆寺は1300年持ってますから、実は1400年前にできた時に燃えたという説がありまして、色々ありますけどどうもやっぱり焼けてるんじゃないかと、100年以内の間に。その造ったやつは1300年建つってですね、わしが読んだ本によりますと「65パーセントの木が1300年前のその時のヒノキである。」というふうに書いてあってですね、やっぱりこれすごいんですね、これ。ですから、みなさんとともにこの時代の人達があと1000年後の子どもが「ええもん造ってくれたな。」言ってこれ、じいちゃんばあちゃんのじいちゃんばあちゃんのずっと前の話だけでも、そういうふうに思ってもらえるような名古屋、日本、世界の宝をですね、残していきたいと。その代わり皆さんで大事にして戦争が起きないようにしないかんわね、これ。空襲はいかんですよ、これ本当に。そんな気持ちでやっておるとい事でございますんでよろしゅうお願いしたいと思います。すみません、ありがとうございます。

司会

以上を持ちまして、「名古屋城天守閣木造復元 市民向け説明会」を終了いたします。会場の皆様は混雑緩和のため、ちょっとご案内までお席でお待ちくださいますようお願いいたします。登壇者の皆様、ご退場ください。会場の皆様、座席記入カード、アンケート用紙を、出口で回収いたします。また、他にご質問がある場合はアンケート用紙にご記入ください。

愛知県に「まん延防止等重点措置」が出ておりますので、早めにご帰宅いただきますよう、お願いいたします。

それでは、お忘れ物の無いよう、お気をつけてお帰りください。本日は誠にありがとうございます。

3 アンケート結果

(1) アンケート集計

① 回収数

	件数
1. 名古屋能楽堂	53
2. 名古屋市公会堂	45
3. 鯉城ホール	62
4. オンライン	9
合計	169

② 居住地

	件数	構成比
名古屋市内	143	84.6%
市外	20	11.8%
無回答	6	3.6%
合計	169	100.0%

③ 年齢

	件数	構成比
1. 10歳未満	0	0.0%
2. 10歳代	2	1.2%
3. 20歳代	8	4.7%
4. 30歳代	7	4.1%
5. 40歳代	18	10.7%
6. 50歳代	24	14.2%
7. 60歳代	39	23.1%
8. 70歳代	57	33.7%
9. 80歳以上	8	4.7%
無回答	6	3.6%
合計	169	100.0%

④ 講演による名古屋城に対する理解度

	件数	構成比
1. 理解が深まった	108	67.5%
2. 理解が深まらなかった	25	15.6%
3. どちらでもない	21	13.1%
無回答	6	3.8%
合計	160	100.0%

※オンラインでは非開催のため、他と合計が異なる。

⑤ 市の説明の理解度

	件数	構成比
1. 理解できた	112	66.3%
2. 理解できなかった	22	13.0%
3. どちらでもない	28	16.6%
無回答	7	4.1%
合計	169	100.0%

⑥ 説明会の理解度（年代別）

	理解できた	理解できなかった	どちらでもない	不明	合計
1. 10歳未満	0	0	0	0	0
2. 10歳代	1	0	1	0	2
3. 20歳代	8	0	0	0	8
4. 30歳代	6	1	0	0	7
5. 40歳代	16	1	1	0	18
6. 50歳代	16	1	5	2	24
7. 60歳代	33	2	4	0	39
8. 70歳代	30	11	13	3	57
9. 80歳以上	2	4	1	1	8
無回答	0	2	3	1	6
合計	112	22	28	7	169

(2) アンケート内容

①説明会アンケート用紙

名古屋城天守閣木造復元 市民向け説明会 アンケート

○ 講演で、名古屋城に対する理解は深まりましたか。

- ・理解が深まった ・理解が深まらなかった ・どちらでもない

○ 名古屋市からの説明について、理解できましたか。

- ・理解できた ・理解できなかった ・どちらでもない

○ 本日はご来場ありがとうございました。ご意見・ご感想を、ご自由にお書きください。

【あなた自身についてお答えください】

年 代	1. 10歳未満	2. 10歳代	3. 20歳代	4. 30歳代	5. 40歳代
	6. 50歳代	7. 60歳代	8. 70歳代	9. 80歳以上	
居住地	1. 名古屋市内		2. 市外		

ご協力ありがとうございました。本アンケート用紙は、出口で回収させていただきます。

②名古屋能楽堂

※空欄は無回答

居住地	年代	名古屋城 理解度	説明 理解度	自由回答
名古屋 市内	60 歳代	理解が深 まった	理解できた	服部所長のレジュメをご用意していただくと 良かったと思います。思慮深いお考えであ り、更に理解を深めたい気持ちです。何等か の機会でご提示いただくと有難いです。
市外	50 歳代	理解が深 まった	理解できた	バリアフリー対策をスマートに済ませて、復 元をぜひ早期に実現してください。
	40 歳代	理解が深 まった	理解できた	
名古屋 市内	70 歳代	理解が深 まらなか った	理解できな かった	
名古屋 市内	60 歳代	理解が深 まった	理解できた	新たな知見が得られて良かった。
名古屋 市内	70 歳代	理解が深 まった	理解できた	お城への愛が感じられた。
名古屋 市内	70 歳代	理解が深 まらなか った	理解できた	先着順となっていたので、早めに来場（18： 00 少し前）したが、会場に対して参加者が少 ない。案内が充分でないのではないかと。 講演について：3 年前に市長のきもいりでで きた研究センターの所長の話であったが、細 かい話のら列で、何を話したいのか不明であ った。最後に河村市長を持ち上げて終了。 市の説明：上記の講演より、分かりやすかつ た。あいかわらず河村市長の方針に従い木造 化に固執している点が問題。バリアフリーと 両立できるように思えない。どのような安全 な昇降技術が考えられるだろうか？疑問であ る。照明や防火施設は設置するのにエレベ ーターは設置しない矛盾は解消できないでし ょう。研究センターの所長の昔話にあったが、 暗い階段を昇り降りさせるつもりであるな ら、それも結構ですが。 最上階でも 400 名、もし放火などされたらど うするのでしょうか？

居住地	年代	名古屋城 理解度	説明 理解度	自由回答
名古屋 市内	60 歳代	理解が深 まった	理解できた	進捗状況がもう少し、深く話してもらいたか った。
名古屋 市内	50 歳代	どちらで もない	理解できた	講演、楽しみにしていましたが、講演者の方 の話し方が少し早口で、スクリーンの文字も 小さめだったので、少しわかりづらかった。 木造復元は、期待しているが、費用、石垣調 査、バリアフリーなど、今後の方向性がなん だか不安。金シャチ横丁やセントラルパーク が中途ハンパな感じがするからかもしれない です。名古屋城自体も大切に好きですが、名 古屋城主や姫様などの歴史も義直、宗春だけ でなく、生涯学習センターなどで、講座を開 いてもらいたいです。広報なごやに少しづつ コーナーを作ってもらえるとうれしいです。
名古屋 市内	50 歳代	理解が深 まらなか った	どちらでも ない	
名古屋 市内	30 歳代	理解が深 まらなか った	理解できな かった	なぜだろう、講演・説明とともに今までの説 明会と比較しても理解ができた感じがしな い。
名古屋 市内	60 歳代	理解が深 まった	理解できた	是非ともはやく完成させていただきたい。 楽しみにしています。
名古屋 市内	70 歳代	理解が深 まった	理解できた	・木造復元に向けて具体的にどういう内容を 検討しているか良く理解できた。 ・現在の作業の進ちよく状況はどれ程か。
名古屋 市内	20 歳代	理解が深 まった	理解できた	所長のお話がとても興味深かったです！！
名古屋 市内	70 歳代		理解できた	服部先生の発表の文が欲しい。 ※マスクをしてのマイクの声が聞きにくかつ た。 内容はスバラシイ物だったが、当日だけで終 わらせたくない 今日の発表とスライドをまとめて冊紙化して 欲しい この研究発表を基にして、討議することが目 的達成への近道のように思います。

居住地	年代	名古屋城 理解度	説明 理解度	自由回答
				説明内容 ※発表者のマスクは無い方が良い。（聞きにくい） ※会場に疑門あり（音響の点）
名古屋 市内	40 歳代	理解が深 まった	理解できた	服部所長の名古屋城に関する貴重な話は大変勉強になった。 佐治所長による復元事業の進捗状況の説明は丁寧で分かりやすかった。 今回の説明会で名古屋城の天守閣木造復元の方向性についての理解が深まった。
名古屋 市内	60 歳代	理解が深 まった	理解できた	天守台で支持しない構造について理解深まった。 防災対策が弱いのではないか（地震・火災・避難ルート確保）
名古屋 市内	20 歳代	理解が深 まった	理解できた	
名古屋 市内	40 歳代	理解が深 まった	理解できた	
名古屋 市内	70 歳代	理解が深 まった	理解できた	私は 12 月に大阪城を見学に行きました。エレベーターがついていて、私の足はたすかりました。
名古屋 市内	70 歳代	どちらで もない	どちらでも ない	ふり出しに房ってしまった計画は白紙か再度検討しなおす。市民意見を聴取するかすべきではないですか。 竹中工務店との契約は成立が持続するのでしょうか？ 再度計画、契約をし直す必要がありませんか？
市外	60 歳代	理解が深 まった	理解できた	
名古屋 市内	60 歳代	理解が深 まった	理解できた	
名古屋 市内	40 歳代		理解できた	まず石垣の調査を早くしなければいけないことがわかったが、どうしても木造でなければいけないのかまではわからなかった。 しかし、職員の方の大変さは理解できた。

居住地	年代	名古屋城 理解度	説明 理解度	自由回答
名古屋 市内	20 歳代	理解が深 まった	理解できた	
名古屋 市内	50 歳代	理解が深 まった	理解できた	服部先生のお話をもっと長くききたかったで す。 別の機会でもオンラインでもあるとうれしい です。←近年の調査で新しく分かった事等、 大ナゴヤ大学の城子屋のようなもの 説明に関しては市長の言葉が一番説得力が無 かった、感情論や市長の個人的希望だけを言 われても市民はついてこないと思います。
名古屋 市内	50 歳代	どちらで もない	理解できた	講演会とのセットでの説明会開催ありがとう ございます。最近の具体的な進展状況があまり 分かりませんでした。1人あたりの質問個 数は時間との関係から限定した方がよいと感 じました。
名古屋 市内		理解が深 まらなか った	理解できな かった	今の城はたいへんな価値がある 戦後焼失したかなしみ（そうしつ感）で、つ つましい時代工費 1/3 の寄附をして市民の熱 意で再建して市役所などと同様、重要文化財 相当のものを今もなおざり。博物館機能を持 たせた先見の明、バリアフリーもすばらしい 6F へのばすだけ。耐震長寿命化した大阪、熊 本と同じようにしかも実測図通りほぼ完全に 再建している なのに修復絵画をぬらすなど怠慢です。文化 乏しくしらかわホールも閉じます。他の会場 も、くじ引き困難で困っています。文化厚 く！！
名古屋 市内	70 歳代	理解が深 まった	理解できた	木造復元までまだまだ長い期間がかかると理 解した。時間がかかっても、良いのであせら ず有識者、国等充分検討し、全国にほこる世 界にほこる文化遺産として復元事業を推進し て下さい。もちろん、市民に対して復元事業 の経過を説明するよう望みます。 市民に支えられ、理解されてこそ、名古屋の 自慢のお城となるでしょう。

居住地	年代	名古屋城 理解度	説明 理解度	自由回答
		理解が深 まった	どちらでも ない	バリアフリーについて、中途半端なバリアフ リーは残念なことに。 本物に近づけてほしい。 エレベーターが見えるなら今のままでも OK では？
名古屋 市内	60 歳代	理解が深 まった	理解できた	現在は天下普請（国・文化庁）の協力が非常 に少ないように感じる。市長が孤軍奮闘して いるが、是非とも未来に誇れる「名古屋城」 を造ってほしい。なんといっても名古屋城は 名古屋の宝です。 戦災消失はとても残念です。 今回、当時の姿を再現できる又とない機会で す。 是非とも凶面に忠実な名古屋城をお願いした い、するべきだ。
名古屋 市内	30 歳代	理解が深 まった	理解できた	
名古屋 市内	30 歳代	理解が深 まらなか った	理解できた	
名古屋 市内	60 歳代	理解が深 まらなか った	理解できな かった	<ul style="list-style-type: none"> ・危険な違法建築今すぐ計画中止すべき。 ・名古屋市は人の命より木造復元の方が大事 なのか？ ・服部さんの話、全く時間のムダ なにを言っているのかわからない ・災害時の対応について説明が全々ない
名古屋 市内	40 歳代	理解が深 まらなか った	理解できな かった	<ul style="list-style-type: none"> ・せっかくの講演でしたが、モニターが小さ く見えませんでした。残念。 ・数年前の説明会では収支計画をのせていま した。 <p>コロナ禍で2年たち、入場者数がどうなっ ているのか、改めて計算して示してください。 工事費と維持管理で年間いくらかかるのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木造復元に税金投入しないという説明だっ たと思いますが、現在でも変わりませんか？

居住地	年代	名古屋城 理解度	説明 理解度	自由回答
				<ul style="list-style-type: none"> ・大阪万博のための追加工事費が発生していますが、本当に税金投入しないですむのかとても心配です。 東京オリンピックも追加でお金がかかっています。 寄付と入場料収入だけですべてまかなえるなら文句はありません。 コロナ対策で余分なお金は市にもうないと思います。 ・相変わらず文化庁のカベは高いですね。 ・質問者の中でパソコン入力の音がうるさかったです。
名古屋 市内	50 歳代	理解が深 まった	理解できた	○天主のバリアフリー化は最小にするべき、近年のバリアフリー化はポリコレであり、史実に素づく復元とは意味合いがちがう。
名古屋 市内	70 歳代	理解が深 まらな かった	理解でき な かった	復元許可が下りない理由に対して、市はどのような対策を考えているのか？ 市民の要望の賛否はどうなっている 最近のアンケートの詳細をお聞きしたい
名古屋 市内	60 歳代	理解が深 まった	理解できた	
名古屋 市内	60 歳代	理解が深 まった	理解できた	<p>天守を含めた櫓の復元の将来構想を初めて知りました。</p> <p>早期に復元された名古屋城を見たいものです。</p>
		どちら でも ない	どちら でも ない	<p>基礎構造分けるなら復元とは言えないのでは。</p> <p>それなら EV も 4 人乗りより大きい箱にしてもよいのでは。外から目立たなくすれば。</p> <p>それがダメなら VR（本丸御殿のよりもっと良いもの）五稜郭方式の展望台方式が最も安全である。景観をそこなわれない、人それぞれ</p>
市外	40 歳代	理解が深 まった	理解できた	

居住地	年代	名古屋城 理解度	説明 理解度	自由回答
名古屋 市内	60 歳代	理解が深 まった	理解できた	木造復元を楽しみにしています。復元された 天守が、世界遺産登録されたら素適なことだ と、わくわくします。 バリアフリーはなくてもいいのではないか？ 江戸時代のままの形での復元が一番だと思 う。 なお現在のコンクリートの天守を補強修復す ることはできないのか？
名古屋 市内	40 歳代	理解が深 まった	理解できた	天守閣木造復元に期待をしております。 様々課題はあるでしょうが、職員の皆さんが がんばって下さい。
名古屋 市内	30 歳代	理解が深 まった	理解できた	
市外	60 歳代	理解が深 まった	理解できた	工藝や技術の継承を考えれば復元を行なって 欲しく思います。
名古屋 市内	70 歳代	どちらで もない	どちらでも ない	早い木造復元を望みます。 忠実な再現は、城という建物である以上、せ めにくい造りになっておりバリアフリーにこ だわるあまり、その意味が薄れることを心配 します。 犬山城、松本城の急な階段こそ大きな意義 があると思う。 建物に手を加えるのではなく、装着器具の開 発やバーチャルの活用などで是非進めてほし い。 また天守閣だけでなく多聞櫓などの施設の再 建も含め一体化した一刻も早い復元を望みま す。全国再建の城が多い中、本物の城として 名古屋の誇れるものにしたい。 ※火災対策は十分検討してほしい。（首里城 の件もあり）
名古屋 市内	70 歳代	理解が深 まった	理解できた	
名古屋 市内	60 歳代	理解が深 まった	理解できた	・よい企画です。ありがとうございます。

居住地	年代	名古屋城 理解度	説明 理解度	自由回答
				<ul style="list-style-type: none"> ・時系列で確認したい点があり、資料の年は「西歴」を（）として併記してほしい。（平成 29 年度（2017）） ・冊子 P9 「…崩壊する可能性のある天守台で支持しない基礎構造とする」→私は法律に慣れており、むつかしい文章の意味は分ります。ただし、「分かりにくい文章」のため質問がありました。分りやすい文言にしてください。
		理解が深まった	理解できた	<ul style="list-style-type: none"> ・前半の専門員の説明は聞こえにくく残念 ・質問に政治的なニオイがするのは残念、街の宝として前向きな意見会を望む。 ・市側の返答に熱意が感じられないのは残念。 <p>Net 説明会では感じられない市側の思いを伝えることは大事だと思う。 ありがとうございました。</p>
名古屋 市内	70 歳代	理解が深まらなかった	理解できなかった	<p>河村市長の 3 条件みたせば木造なら本物になるという見解 ならドキュメントを誤解している。 もともと再現を想定したものではなく修理する際を想定したもの なくなったもの どんなに本物ににせてつくっても コピーはコピー火をみるより明らか 言えば言う程恥をかく見解</p>
名古屋 市内	80 歳以上	理解が深まった	理解できなかった	<ul style="list-style-type: none"> ・パネルの表示が小さく読みとれなかった ・聴覚不可者への表示が中央にあれば判ったのではないか ・天守閣の石垣、地下の基礎の加藤清正以外の貢献は、大きく評価しなければならないのだろうか？
名古屋 市内	70 歳代	どちらでもない	どちらでもない	

居住地	年代	名古屋城 理解度	説明 理解度	自由回答
名古屋 市内	70 歳代	理解が深 まらなか った	どちらでも ない	<p>私は天守木造復元を願う者です。</p> <p>ついこの前まで昔からの天守が存在していたのに、戦争によって燃えてしまい、祖母や母が登った、ながめた城がなくなってしまったことが本当に悲しいです。</p> <p>ぜひ昔と同じ天守をきちんと再現してほしいです。</p> <p>全ての者が登れるような工夫は大切ですが、そのために昔の城からいつだつした形にはしてほしくないです。本造建築の中にエレベーターや過度の機械的な構造は無理だと思います。私の年令的に完成時にはいないかもしれないし、階段ののぼりおりもムリかもしれませぬ。でも昔ながらの天守を願っています。</p> <p>もっと復元をアピールする声を発信してほしいです。</p>

③名古屋市公会堂

※空欄は無回答

居住地	年代	名古屋城 理解度	説明 理解度	自由回答
名古屋市内	50 歳代			
名古屋市内	60 歳代	理解が深 まった	理解でき た	原学芸員の講演で名古屋城のことが深掘りができ、更に名古屋城の魅力が増しました。木造復元は総事業費の増加（市民負担）が大変危惧されます。
名古屋市内	60 歳代	理解が深 まった	理解でき た	慶勝に興味があり、機会を得てうれしかったです。天守閣復元の意義は認めるものの、ここまできたらあわてず、いいものを作ってほしい。コロナ後は財政にゆとりがなくなるので、予算もきびしくなると思う。一市長のいきごみで実現するより、21世紀という長いスパンで考えてほしい。
名古屋市内	60 歳代	理解が深 まった	理解でき た	
市外	20 歳代	理解が深 まった	理解でき た	
名古屋市内	20 歳代	理解が深 まった	理解でき た	原先生の講演の中で、藩主だからこそ撮れた写真を見ることができ良かった。また写真からの考察もとても勉強になった。
名古屋市内	60 歳代	理解が深 まった	理解でき た	数多く残る写真を活用して、名古屋城の魅力が今後更に発信できると良いと期待します。
名古屋市内	60 歳代	理解が深 まった	理解でき た	写真資料の豊富なのにびっくりしました。ぜひ、活用して復元してほしい。
名古屋市内	70 歳代	理解が深 まった	どちらで もない	魅力ある名古屋にするためにも木造復元された名古屋城天守閣木造復元が、起爆剤になるのではと大いに期待しています。本丸御殿は素晴らしく、今後天井絵も復元され、それらと一体化した天守閣、更には多聞やぐらが完成すれば、城の本来の姿が予想されます。バリアフリーにこだわるあまり、本来の城の姿から遠のくことをきぐします。天守とは本来容易に昇れないものであり、本当に全ての人が入れるようバリア

居住地	年代	名古屋城 理解度	説明 理解度	自由回答
				フリーにすることがいいことなのか疑問です。補助具をそうてんして昇るぐらいならよいが、わざわざ本来ないような設備を建築することには反対です。バーチャルを活用すればわざわざ昇らなくても十分体感できるのでは。全ての人が昇ること事態おかしいのでは。それぞれの立場に応じ、外部から、補助具で、バーチャルで楽しめればよいと思う
名古屋市内	50 歳代	理解が深 まった	理解でき た	原先生のお話が大変興味深いものでした。又、機会があるとうれしいです。
名古屋市内	60 歳代	理解が深 まった	どちらで もない	
名古屋市内	60 歳代	理解が深 まった	理解でき なかった	結局、まったく具体化できていないということが理解できた。コンクリート天守もひとつの文化財（戦争遺産）とし保存し、むしろ、それ以外の馬出し、櫓門、多門櫓の復元をすすめるべきだと思う。R2 年まで 70 億は驚き、大々的に公表したら事業反対運動ぐらいおきそう。搦手馬出の復元にいつまでかかっているのでしょうか。
名古屋市内	50 歳代	どちらで もない	どちらで もない	これからもヨロシク ありがとう
名古屋市内	50 歳代	理解が深 まった	理解でき た	学芸員による講演は大変興味深く楽しく受講出来た。
名古屋市内	80 歳以 上	理解が深 まった	理解でき た	名城の写真（スライド）説明の資料があると良い。 （全部でなくても各重点箇所は今昔写真記録）
名古屋市内	70 歳代	理解が深 まった	理解でき た	写真で見る幕末の名古屋城。 ◎徳川よし勝（カメラマン）最終の殿様などの説明は木造復元の説明に必要なのか？少々疑問です。 ◎佐治さんからの説明 時間の制限があり、もっと詳細な点までの説明が出来なかったのは少し残念でした。

居住地	年代	名古屋城理解度	説明理解度	自由回答
				<p>全般的には丁寧な説明と思います。</p> <p>◎質疑応答 守山さん天白さん→反対的、・進みぐ数値化・建築違反?・バリアフリー 天白さん～大賛成 昭和区(個人名)早く築てほしい。 市の説明は良とする。 要望→土日の開催を検討願います。(もっと多くの市民の参加が期待出来る)</p>
名古屋市内	60歳代	理解が深まった	理解できた	名古屋城について、こんなにも多くの資料があるのだから早く木造復元をして建ててほしい。
市外	50歳代	理解が深まった	理解できた	今までとちがい、意見も3/5が賛成派で、すすめるための、建設的な意見でしたので、市には、着実にすすめてもらいたいと思います。
名古屋市内	70歳代	理解が深まった	どちらでもない	名古屋の観光名所として立派な城が作られることを楽しみにしています。
名古屋市内	70歳代	理解が深まった	どちらでもない	<p>原先生のお話と古写真により、ますます名古屋城の復元を願う者です。すばらしい名古屋城が戦争により、ほとんど焼失してしまい、視覚からすばらしさを体感することができませんでした。天守の木造復元は10年以上かかりそうなので、それと同時にやぐらや門なども1つずつ復元して行ってほしいです。</p> <p>前回の説明会から数年たち、まだ工事に着こうできないのが参念です。少しでも早くできることを願っています。私は完成は見届けられないと思うので、もっとわかりやすく復元状況を伝えて行ってほしいです。</p>
名古屋市内	60歳代	理解が深まった	理解できた	
名古屋市内	60歳代	理解が深まった	理解できた	木造天守への期待はふくらんだが、現天守を解体するのは、もったいないとも思う。

居住地	年代	名古屋城理解度	説明理解度	自由回答
				<p>耐震対策等の手当は、できないか？その方が天守台の石垣への負担は少ない様に思える。</p> <p>現在、木造天守に建替をする階のネックとなっているのがバリアフリー問題だと理解している。江戸時代のままの復元なら、バリアフリーにあえてすることも無い気がする。VR等での対応もできると思う。</p>
名古屋市内				<p>市長はコロナ前と後はちがう（女性なごや等）と言いつつ、少しも変わらない言説でいかなものか？コロナ対策も県におんぶに抱っこでお茶をにごし、県下の市町をみても市はゆゆしく遅れています。芸所名古屋と言うが、和物も洋物も、地域商店もコンサートホールも集会設備も耐えきれず消えようとしている。緑地率を減らすばかり、切り倒し、食べ歩きのような、文化とは程遠い認識の長を長く置いたマイナスは、これから長く治すことが困難。イエスマンばかりの中で、多様な意見に耳を貸さない環境を作ったため、裸の王様。見苦しさは金メダルに極まれり、民心はもういいかげんにしてほしい、いつまでむだに税を浪費！5年も6年もできない完成図に巨大な70億—市民は知らされるべし、投入、私企業とゆ着している。市のマイナスは計り知れず。リセットし、民意を問うべきだ。去るべき人である</p>
名古屋市内	70 歳代	理解が深まった	理解できた	
市外	50 歳代	どちらでもない	理解できた	<p>名古屋城に対する理解は深まりましたか：これは名古屋城そのものの事か？それとも復元に関する理解かどちらの事でしょうか？前者なら深まった、後者ならどちらでもない。</p>

居住地	年代	名古屋城理解度	説明理解度	自由回答
				説明（言っている事）はわかるが余りに矛盾が多いのではないかと？
名古屋市内	60 歳代	理解が深まった	理解できた	講演につられて昨日に続き 2 回目も訪問。訪問前、事前に市 HP のコンテンツを読んでいた。サジ？さんの説明、コンテンツの説明文を読んでいるのはビックリした。「発言内容」が切り取られ、歪曲されないようにとの対策と思った。質疑の反対派がいるからなるほどと思った。ご苦労様です。市役所の皆さんが全て賛成とは思わないが、職務とはいえ感服します。賛成派の私としては「頑張ってください」としか言えませんが皆さん身体だけはこわさないで下さいね。
名古屋市内	70 歳代	理解が深まった	理解できた	名古屋城は昔の木造で作られた城の資料が数多く残っているとは聞いていましたが藩主、慶勝公の写真は初めて拝見するものばかりで興味深く思いました。 ・木造建築で復元することは諸問題の解決が大変だとは思いますが、スピード感をもって、難題を解決して欲しいと思います。
名古屋市内	70 歳代	理解が深まった	理解できた	
名古屋市内	30 歳代	理解が深まった	理解できた	・復元された階段が見て登れる施設「ステップ名古屋」の一般公開が現在中止されているのはなぜでしょうか。税金により造られた公開施設であるはずが、市民である私たちが見て登る機会が奪われています。すぐに公開を再開して下さい。 機運醸成のためにも、すぐに公開再開すべきと思います。
名古屋市内	50 歳代	理解が深まった	理解できた	機運醸成の一環として開館したステップ名古屋が現在閉館されているのはどうしてですか？

居住地	年代	名古屋城理解度	説明理解度	自由回答
				せっかく作ったのに市民が見る、体験するよい機会が奪われているように思います。
名古屋市内	70 歳代	どちらでもない	どちらでもない	
名古屋市内	50 歳代	理解が深まった		名古屋城の写真とても良かったです。当時の写真と現在の写真と比べて説明してくれたのでわかりやすかったです。赤か緑のポインターで指してもらえればもっと位置的に理解できたかと思いました。 名古屋市の職員の方、質疑でしっかり答えてくれているのはわかりました。有識者の方と話し合うのもいいが、今回質問した城好きの詳しい民間の人も一緒に、同席してもらってもいいのではないですか？ ○司会の女性、感じ良かったです。
		理解が深まらなかった	どちらでもない	木造復元に賛成です。 原先生のお話は大変面白かったが天守復元とはあまり関係ないと思った。昭和実測図の価値を示す方が木造復元の意義が深まったと思う。時間の無駄だった。まあ徳美の人だから仕方ないか 佐治所長の説明はそれよりひどかった。あれでは議会答弁と変わらず、専門用語が多く、復元計画の進捗が全くわからなかった。市民向けに分かりやすく話さないと気運の醸成など到底無理。
名古屋市内	70 歳代	理解が深まった	理解できた	※佐治氏の二度にわたる丁寧な説明に感謝です。 また原氏のお話、特に慶勝將軍のまれなる才能（写真撮影技術等）に驚きました。やはり、後世に残す！という意義の深さ！西洋カブレというものの立派だと思いました。あと一回土曜日の講演会も楽しみです。
名古屋市内	20 歳代	理解が深まった	理解できた	

居住地	年代	名古屋城理解度	説明理解度	自由回答
名古屋市内	70 歳代	理解が深まらなかった	理解できなかった	説明会をききにきたのに延々と講演をきかされうんざりする
名古屋市内	70 歳代	理解が深まらなかった	理解できなかった	○質疑応答の時間があまりにも少ない ○市民むけ説明だけやってもらいたい。 講演会は不要（別の機会にやって）
名古屋市内	70 歳代	理解が深まった	理解できた	前回に比べて作業が余り進んでいないので、少しガッカリした！
名古屋市内	80 歳以上			早く、速く復元してもらいたくて、2 回も寄附しました。 ①石垣は、あとでも修復できると思ってました。残念。高齢者は死ぬ前に見届けたいと期待した。 ②市ギ会で報酬を 800 万に減らされた、金のうらみ？恐ろしい。減税も尻すぼみにならないように！！ ③市職員の原理原則的な努力不足とも思います。 市民サービスの意識不足である やはり石垣に足を引っぱられていた。 熊本城は石垣一列で倒壊を免れていた様に見えるが名城は、基礎工法を異れば早期着工が可能 要は協力体制が不足していたということですね。
市外	10 歳代	理解が深まった	どちらでもない	
名古屋市内	60 歳代	理解が深まった	理解できた	名古屋城復元の現状が理解できてよかった。 新知見が得られて参考になった。
名古屋市内	70 歳代	理解が深まった		昨日に続き出席しました。 講演時間が短かった。数多く説明会・講演の場を設けて出来れば常設の場があればと思う。多ければ多し程市民の熱意が上がると思う。 完成時期・目標は？

居住地	年代	名古屋城理解度	説明理解度	自由回答
				計画は4年度いっぱい完成させたい？→その後の着工目標は？
市外	40歳代	理解が深まった	理解できた	
名古屋市内	80歳以上	理解が深まった	理解できなかった	写真の話は興味深かった
名古屋市内	50歳代	理解が深まった	理解できなかった	耐震を理由に入場できなくなって3年半、名古屋の観光にとって大きな機会損失と思う 名古屋城スタッフ、本丸御殿スタッフいづれもおもてなしのやさしさなど感じない、ひどい態度の人がいる改めて欲しい。

④鯉城ホール

※空欄は無回答

居住地	年代	名古屋城理解度	説明理解度	自由回答
名古屋市内	70歳代			<p>河村市長へあてたコメント。</p> <p>有松絞り製品：伝統産業の技術—無形遺産 有形遺産 本物を伝える—文化財・文化遺産の話で</p> <p>名古屋城：焼失前の名古屋城天守—本物 オーセンティシティあり</p> <p>現コンクリート天守 つくった時点—材料異にするコピー。オーセンティシティないが、50年以上たち文化遺産に。</p> <p>木造天守を再現 材料を同じくするコピー 木造建物に限って再現したものがコピーでなく本物になるという河村市長の説明は誤り</p> <p>ただし、コピーは偽物ではない。コピーとしての価値を持つ。</p> <p>将来文化財、文化の遺産になる可能性はある</p> <p>しかしその場合でも本物ではない</p>
名古屋市内	50歳代	理解が深まった	理解できた	<p>木村先生のお話、とても興味深かったです。</p> <p>特別史跡という物の重要性、名古屋城が天守だけでなく全体の存在意義、歴史的価値が構成だけでなく現在の市民に、広く伝わる事を願います。その為にもこのような講演が多く開かれると良いかと思えます。ブラタモリの様なメディアも活用しつつ。</p> <p>まだまだ課題が多く、先も長くかかりそうですが、一つ一つクリアし、木造天守復元されます事、一市民として期待しています。</p>
名古屋市内	60歳代	理解が深まった	理解できた	<p>史跡の保存は大変ですが、やはり未来に残してほしいと思います。木造化は資料をもとにすすめてください。</p>
市外	60歳代	理解が深まった	理解できた	
名古屋市内	40歳代	理解が深まった	理解できた	

居住地	年代	名古屋城理解度	説明理解度	自由回答
名古屋市内	70歳代	理解が深まった	理解できた	特にバリアフリーがうまくされることを希望。
名古屋市内	60歳代	理解が深まった	理解できた	石垣復元作業の見学会などを催してほしい。
名古屋市内	60歳代	どちらでもない	どちらでもない	図書館にあった「名古屋城天守閣木造復元市民向け説明会」のパンフレットをみて今回の説明会に参加した。1/22 1:30~3:30とし、講演者木村氏…となっていた。この2h木村氏の話だけの書き方であるが最初の司会のタイムスケジュールはこの内容が30分間のみとされていた。 パンフレットの書き方はずいぶん違うので失望した。又木村氏の話の資料は全くない。 この事業の関係者であるなら、講演+説明会+質疑応答ということは理解できるが、一般人の私にはこのパンフレットからは全く理解できない。
名古屋市内	60歳代	理解が深まらなかった	理解できた	講演は名古屋城にまつわる文化財についての話しと期待して来たが、史跡の定義等一般的な話しに終り、極めて残念。 タイトルと内容をきちんと合わすべき。 プレゼンも文字ばかりで工夫が必要。 「文化財の宝庫」と言う名古屋城の魅力が全く解らなかった。
名古屋市内	70歳代	どちらでもない	どちらでもない	このような説明会は寄附をした方々に連絡してほしい。
名古屋市内	70歳代	理解が深まった	理解できた	
名古屋市内	70歳代	理解が深まった	理解できた	名古屋城天守の呼び方について 名古屋市は名古屋城天守閣と閣の字をつけ呼ばれていますが閣をつけた呼び方は明治以降にいわれた言葉で城の名称にはふさわしくありません。『金城温古録』には一切閣の字は使われていません。一考を要します。
名古屋市内	60歳代	理解が深まった	理解できた	

居住地	年代	名古屋城理解度	説明理解度	自由回答
市外	70 歳代	理解が深まった	理解できた	○わかりやすい説明で良く理解できた！ ○前回と比べて余り進捗が進んでいないのでガッカリ！した。
名古屋市内	50 歳代	理解が深まった	理解できた	文化庁と十分な協議の上後世に残る木造復元を実現してほしい。本丸全体の復元も期待しています。
市外	40 歳代	理解が深まった	理解できた	
市外	70 歳代	理解が深まった	理解できた	史実に、忠実な復元を目指すべきであると思う。 木造での復元、小天守・多聞櫓等々の復元に全面的に賛成である。一番心配なのは、費用だと思う。本丸御殿の復元のように、何年かけてもよいから、最高のものを目指すべきであると思う。 関係者各位の絶えざる努力とご健闘を祈りたい。
名古屋市内	40 歳代	どちらでもない	どちらでもない	
名古屋市内	50 歳代	どちらでもない	どちらでもない	質問者の質問数が多すぎる。色々な人の話を聞くために「1人2点ほど」とした方が良く思う とにかく生きている間に見せてほしい、見たい。 竹中工務店の話を聞きたかった。
市外	50 歳代	どちらでもない	どちらでもない	西尾市の西尾城天守台に名古屋城小天守をまずは建てませんか？ 西尾城天守台+付櫓の中に名古屋城小天守造れます ○西尾城天守はお金が無く天守台しか作れませんでした ○現在保管している木材も 1/3 使い木材保管費減らせます ○竹中工務店も建設でお金入ります ○出来た小天守で ・地震の耐震

居住地	年代	名古屋城理解度	説明理解度	自由回答
				<ul style="list-style-type: none"> ・火災 ・バリアフリー もじっしょう実験でき文化庁の許可も出やすい ○西尾市から名古屋市への移設費は <ol style="list-style-type: none"> 1. 小天守の入場料、文品販売 2. 文化庁へ天守移設の堀川を使つてのじっしょう実験しんせいする（犬山城 清州櫓 彦根城 移設している） 3. 金鯨を今の金鯨を利用して5億円台を移設費にあてる
名古屋市内	70歳代	理解が深まった	理解できた	説明会に参加して復元に対スル事の大事な事をよく理解出来た。 早く見たいものです。
名古屋市内	50歳代	理解が深まった	どちらでもない	これまで70億円の費用がかかり、今後、ばく大な費用が必要なのは、明白。 本丸ごてんはすばらしいが同様150億円もかかった。 実現は期待したいが、心配な事も多い 十分検討が必要。
名古屋市内	40歳代	理解が深まった	理解できた	
市外	50歳代	理解が深まった	理解できた	
名古屋市内	60歳代	理解が深まった	理解できた	
		理解が深まらなかった	理解できなかった	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基準法の適用除外…できると（信じる） …2022 来年度一希望ではものがたりです に（解体復元）という第2回の登弁があり、誠に無責任である。個人の好みで用いる言葉（信じ）らすの根拠なく（行う解体復元）とは笑止ですまぬ。 2. どういう形状どういう工法、いつ、いくらを示し民意を問うが順。まっくらやみで支援しろというのか。公金がみすみす70億、権力や行政による横領や私的利用犯罪となる。これは大問題。コロナまったた中において、優先すべき

居住地	年代	名古屋城理解度	説明理解度	自由回答
				<p>はコロナ後までの市民の生命・くらしをどう守るかだ。後世に、逆行市長と称されます。</p> <p>3. 説明する項目に黄色いタスクを当て下げていって全て NO と言われ未完だで 1 分ですむ。それをさももったいぶって抽象的に流し、費用と使途と、その自己反省もついているべき内容 all ナッシング、人間らしい人に寄り添うに欠けている。固執—見苦しい—生きているうちに出来ん・誰が支払う？… 4. 市民に必要な正確な合理的な情報を与えないで進めようとする悪とゆ着する越後屋?!を見る。努力する方向をシフトしてすこしは良かったと言われたらどうか。</p> <p>◎公金面の他、重要文化財担当今の城を民意なく破壊は許されない。by 文化庁も、言ってる</p>
名古屋市内	50 歳代	理解が深まった	理解できた	
名古屋市内	70 歳代	理解が深まった	どちらでもない	<p>本来の天守閣復元になるよう バリアフリー、防火対策にこだわりすぎぬよう 最小限の付加による建造を望みます。</p>
名古屋市内	70 歳代	理解が深まった	理解できた	<p>・子供の頃は天守閣のない石垣だけでした。 鉄筋の天守閣が完成し、“尾張名古屋は城でもっ” 天守閣は？江戸時代の木造でつくるなら急な階段もあるのが当然 江戸時代のような天守閣から名古屋の街をながめてみたい 名古屋の宝、世界の宝をつくって下さい</p>
名古屋市内	70 歳代	理解が深まった	理解できた	<p>小学生の時父につれられて名古屋城天守閣に来たが、木造でなくがっかりした事が思い出されます。天守閣木造復元、きたいしています。 S34 年の時 10 歳でした。</p>
名古屋市内	50 歳代	理解が深まった	理解できた	
名古屋市内	60 歳代	理解が深まった	理解できた	

居住地	年代	名古屋城理解度	説明理解度	自由回答
名古屋市内	70歳代	どちらでもない	どちらでもない	バリアフリーのちうもくがだれでもあがることのできることに努力をして明るく元気にしてほしい。
名古屋市内	40歳代	理解が深まらなかった	理解できた	「史跡」の言葉の説明ばかりで、名古屋城の魅力が伝わらなかった。何言っているのかわからない。むしろ、木造復元はよくないのでは？と思ってしまった。 折角忠実に復元できるのだから、余計な手を加えずに復元してほしい。バリアフリーは必要ない。私自身見れなくなったとしても“本物”を求めます いつかまた「国宝」とされるように、江戸時代そのままの姿を復元して下さい。 高齢者のため、障害者のための復元ではなく、市民、国民の誇れる“城”としての復元を希望します。今の名古屋城は城じゃないと皆言っています。姫路城に行って感動しました。本物のお城にして下さい。期待しています。 1/20 写真術が聞きたかった。また開催してほしいです。ホームページに up とか。
名古屋市内	70歳代	理解が深まった	理解できた	質疑応答を聞いていると具体的に解りやすいと思えました。
名古屋市内	40歳代	理解が深まった	理解できた	
名古屋市内	80歳以上	理解が深まらなかった	理解できなかった	スライドの下部、文字が見えない。 質疑応答をもっと充実させて欲しい。時間が足りない。担当者の説明が、長過ぎる。質問に適切に答えていない。 質問について、もっと適切に答えて欲しい。 ゲストの講演は無くても良い。 市民の声を聞く努力をして欲しい
名古屋市内	60歳代	理解が深まらなかった	どちらでもない	講演は文化財制度の説明が中心で面白くなかった。名古屋城の文化財に測した説明が聴けると思っていたので残念だった。
名古屋市内	70歳代	理解が深まった	理解できた	もう少し詳細な説明がほしかった。

居住地	年代	名古屋城理解度	説明理解度	自由回答
				例えばいつ復元できるかの工程表、市民・企業からの寄付金額 復元後の収支報告、いかにしたら集客できるか等々。（別冊にあり）
市外	70歳代	どちらでもない	理解できなかった	
名古屋市内	80歳以上	理解が深まった	理解できた	◎文化庁とのやり取りが遅いし時間が（日）かかりすぎ。 ◎1日でも早く完成してほしい。 ◎早く本物の名古屋城を完成してほしい。 ◎名古屋は城で持つ（今でも城の無い名古屋は観光客が来ない） ◎文化庁が時間かかりすぎですね。 ◎バリアフリーは必用だと思いますが、現存する国宝の城は昔のままで、どこもエレベーターなどありません 今後40～50年後に国宝となるにはエレベーターは無い方が良いのでは。
名古屋市内	70歳代	理解が深まらなかった	理解できなかった	やっぱり、「なぜ木造復元にしなければならないか」が理解できなかった。要は文化財として遺したいのか、観光施設とするのかが不明確なために、事が進まないのだと思う。 文化財としての価値のとらえ方があいまいすぎると思いますね。そのために財政ひっ迫の時期に“木造化”にこだわる事が理解できない。 “文化財”とはどうあるべきなのか、近年の文化財を観光資源とする政治姿勢に反発を感じています。
名古屋市内	70歳代	理解が深まらなかった	理解できなかった	①文化庁の指導許可が下りない訳をもっとわかりやすく説明して欲しい ②天守閣の耐震工事をするのになぜダメなの？ ③河村さんだからダメなの？任期終わってもやりたいとの長期戦に作戦変更したらどうですか ④木造復元が前面だからなの？ ⑤木造化されたら国宝になるのか？

居住地	年代	名古屋城 理解度	説明 理解度	自由回答
名古屋 市内	70 歳代	理解が深 まった	理解できた	木村有作先生のお話も楽しく、長い年月をかけて受けついでいく天守閣であること。（特に庭木などは時間がかかる） じっくりと作っていただきたいと思う。
名古屋 市内	80 歳以 上	どちらで もない	どちらでも ない	日本の宝を造る事業です。城とバリアフリーは、なじまないものと考えます。バリアフリーにとられることは残念でなりません。
名古屋 市内	70 歳代	理解が深 まらなか った	理解できな かった	時間がないのになぜ関係のない講演会を延々とやるのか 質疑の時間があまりにも短い
名古屋 市内	60 歳代	理解が深 まった	理解できた	今 63 歳。 生きて、歩ける（昇れる）うちに木造復元を！ 応援しています。
市外	70 歳代	理解が深 まらなか った	理解できな かった	
名古屋 市内	70 歳代	どちらで もない	理解できた	
名古屋 市内	60 歳代	理解が深 まった	理解できた	早く進めて欲しい。
名古屋 市内	70 歳代	理解が深 まった	理解できた	
名古屋 市内	60 歳代	どちらで もない	どちらでも ない	
名古屋 市内	70 歳代	理解が深 まった		講演 13 : 37~14 : 17 時間が短かかった。もっともっと時間が欲しかった。定期的にやって欲しい。又努力して欲しい。子供達への説明（教育）が必要なのかも！！ 市からの説明 14 : 17~14 : 30 時間が短か過ぎる。もっともっと区内での説明会があれば良いと思う 質疑応答 14 : 52~15 : 〔1〕①整備②土産・トイレ③エレベーター④ 水漏れ

居住地	年代	名古屋城理解度	説明理解度	自由回答
				<p>[2] 昭和区 85 才①文化庁の許可いる②石垣？ ③完成時期 P7 下？④バリアフリー</p> <p>[3] 中区（個人名）①忠実に作る事が大事バーチャルリアリティーでも？0.K</p> <p>[4] 南区（個人名）①6 頁手続き上は市の行動で？4 年度末 0.K</p> <p>[5] 女性①工事の重キ？竹中工務店で計画案？</p> <p>その他 3 回目でやっとぼんやりわかった様に思います。今後は楽しみです。</p>
名古屋市内	80 歳以上	理解が深まらなかった	理解できなかった	
名古屋市内	60 歳代	どちらでもない	理解できた	<ul style="list-style-type: none"> ・今の時代、こんな事を言えないが、バリアフリーにとわられることなく昔の姿、構造の通り、天守閣を復元すべきだと思っている。 ・木造天守を作った掛川や白河のどこに行ってもエレベーターはない ・名古屋城は S34 年の復元の時にエレベーターを作ったのが間違いだったのではないか、と思う。 ・どんどん完成が遅れていっているが、早く昔のままの姿を復元してほしい。 ・自分が生きているうちに木造天守閣を見せて下さい。 ・自分の亡くなった父親が、生前「今の名古屋城は鉄筋コンクリートだからつまらん」、「戦前見に行った木造の旧天守は良かった」と言っていました私も父親がほめていた木造の天守閣を早く見たいと思っています。 <p>例え、自分の足腰が弱って中に入ることができなくなっても外側だけ見られれば、満足できると思います</p> <p>P. S. 天守閣が復元できるまで「名古屋城検定」を続けて下さい。</p>

居住地	年代	名古屋城理解度	説明理解度	自由回答
名古屋市内	70歳代	どちらでもない	どちらでもない	
名古屋市内	70歳代	理解が深まった	理解できた	
名古屋市内	70歳代	理解が深まった	理解できた	理解活動にしっかり時間をかけてほしい。
名古屋市内	50歳代	理解が深まった	理解できた	本丸御殿の木造復元には市政百周年記念事業の“提言”から始まって、30年くらいかかっていると思います。今回の説明会を聞かせてもらって、復元することの計画、現状の変更についてこんなに大変なことが背景にあるとうかがうことができました。少しでも木造復元に協力できるように自分も何か努力したいと思います。
名古屋市内	20歳代	理解が深まった	理解できた	
名古屋市内	40歳代	理解が深まらなかった	理解できた	結局、数年前と殆ど前進がなく、同じ論点でずっと「審議」し、当初案も変更になり、金と手間だけかかっている感。コロナ対策で金も必要なのでは？
市外	40歳代	理解が深まった	理解できた	客席の質問をもう少し多めに時間をとってほしかったです。 学芸員さんのスライドで、名古屋城でのイベント内容に、名古屋城でする必要があるのかといった文言があり興味深かったです。じっくり議論をしてほしいです。

⑤オンライン説明会

※空欄は無回答

居住地	年代	説明理解度	自由回答
名古屋市内	70歳代	どちらでもない	1. ” 「まるはっちゅ〜ぶ」 1 c h ” と手入力するのは結構手間がかかるので、市民向け説明会のWEBページにリンクを貼って容易にアクセスできるように改善願いたい。 2. 説明の冒頭で所長が「参考資料冊子も用意している」と言われているが現在（1月19日11時）において上記WEBページに見つからない。動画公開と同時に冊子も見るように配慮願いたい。
名古屋市内	70歳代	理解できなかった	詳しくは解りませんが??も一いい加減にして下さい。今のままではいけませんか?? コンクリートのお城も歴史です?? 立派です??
市外	70歳代	理解できた	基礎構造としての「はね出し工法」を見直すとのことですが、「天守台本来の遺構には新たに手を加えないことを原則と」することは理解しますが、天守閣の木造化を「可能な限り史実に忠実な復元」として行うことも同様に重視してほしいと思います。天守の下層階が鉄骨作りになるような計画をどこかで目にしましたが、「木造復元」のことばが泣くような印象を持ちました。もっと「木造復元」を重視してほしいと思います。
名古屋市内	70歳代	理解できた	名古屋城天守閣木造復元を心待ちにしています。今回の説明会では多門櫓や馬出などの復元もあると知りました。天主閣復元と同時進行になるのでしょうか。 また、二の丸庭園東側、体育館南側、御園門跡周辺、巾下門跡付近など各石垣の草木剪定をもっと進めてほしいと考えています。どれも美しい石垣です。 木や雑草で隠れており非常に残念です。工事が始まり天守復元までの期間の目玉にもなると思います。

居住地	年代	説明理解度	自由回答
名古屋市内	20 歳代	理解できた	<p>天守復元は大賛成。近世城郭の最高傑作である名古屋城の鉄壁の守りを特に見ることができる天守は復元する価値がある。松山城小天守などの昭和の木造復元建造物は登録有形文化財に指定されているので、現天守保存の声もあるが、木造の方が意義深い。天守台保全を優先してなんとしてでも復元して欲しい。現天守建設時に貴重な天守台の破壊も行われた。それを元の状態に戻すのも天守復元で。天守復元の説明では引戸蓋など本来の名古屋城天守がどのような建物なのか広める必要がある。天守復元の機運を高めるためにも木造天守の見所を分かりやすく表示すべき。復元される天守がどんな建物か知らない人もいると思う。</p> <p>進めるべきこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の城の天守と同等の規模の隅櫓は天守に入れない今、名古屋城の大きな見所なので常時公開を。特に西北隅櫓は名古屋城第三の天守として、かつての熊本城宇土櫓のように公開するのが望ましい。 ・天守復元には時間がかかるので、その間に門、櫓の復元を進めて、フィナーレとして木造天守完成。 ・二之丸などの大規模な発掘調査をすべき。 ・西之丸のお土産屋を金シャチ横丁に移転すべき。 ・御深井丸は西北隅櫓、天守が美しく見えるスポット。松江城天守周辺の芝生広場ように整備すべき。(蔵跡表示も) ・二之丸にあった孔雀御門などの御殿の門の復元は検討すべき。 ・二之丸南側の堀に再び水を入れるべき。(明治時代まで水があった) ・金シャチ横丁には青柳ういろうなど手軽に買える店があるといい ・三之丸の門跡や名古屋東照宮の回遊性も欲しい。 ・西の丸御蔵城宝館に名古屋城全体復元模型を設置して欲しい(城郭模型工房に依頼) ・乃木倉庫の活用をすべき。
名古屋市内	40 歳代	理解できた	<p>金シャチ横丁に続きまして、名古屋市最大の観光スポットになると思いますので、是非とも天守閣を木造復元して下さい。人気が無い町名古屋でなく、人気がある町名古屋にしていきたいと個人的に思います。</p>

居住地	年代	説明理解度	自由回答
市外	30 歳代	理解できた	
名古屋市内	30 歳代	理解できた	<p>一步一步急がず事業を進めて欲しい。</p> <p>木造復元に要する経費は全て市債で生み出されているのでしょうか。</p>
名古屋市内	40 歳代	理解できた	<p>名古屋城木造復元におけるバリアフリーについてですが、提案があります。</p> <p>今の現天守閣の小天守入り口についてる階段の隣に本丸御殿についてる車椅子用のスロープをつけて、段差は本丸御殿の中でもついている段差解消パネルをつけて、小天守と大天守の通路の階段は階段にはめるタイプのスロープをつけて、大天守に入る。大天守では、間取りに影響ない場所に階段と同じ材料で木製スロープをつける。これなら、一番最上階までいけますし、車椅子を押すボランティアがスロープ付近に立っていれば何とかなるのでは？。木製スロープなら、避難も素早く出来ますし、鉄骨も入れなくてすむ。</p> <p>木造復元の天守の構造に大きな改変をしなくてすむから、将来の国宝もありえるかもしれない。もちろん、スロープや人が歩くところにはマットを敷いて天守閣の床を保護する形です。</p> <p>新技術公募で、良い内容がなければ、この内容はどうでしょうか？。</p>